

新採点管理システム — 操作マニュアル —

< 初 版 >

(株)日本システムディベロップメント

平成 18 年 10 月 25 日

機能別目次

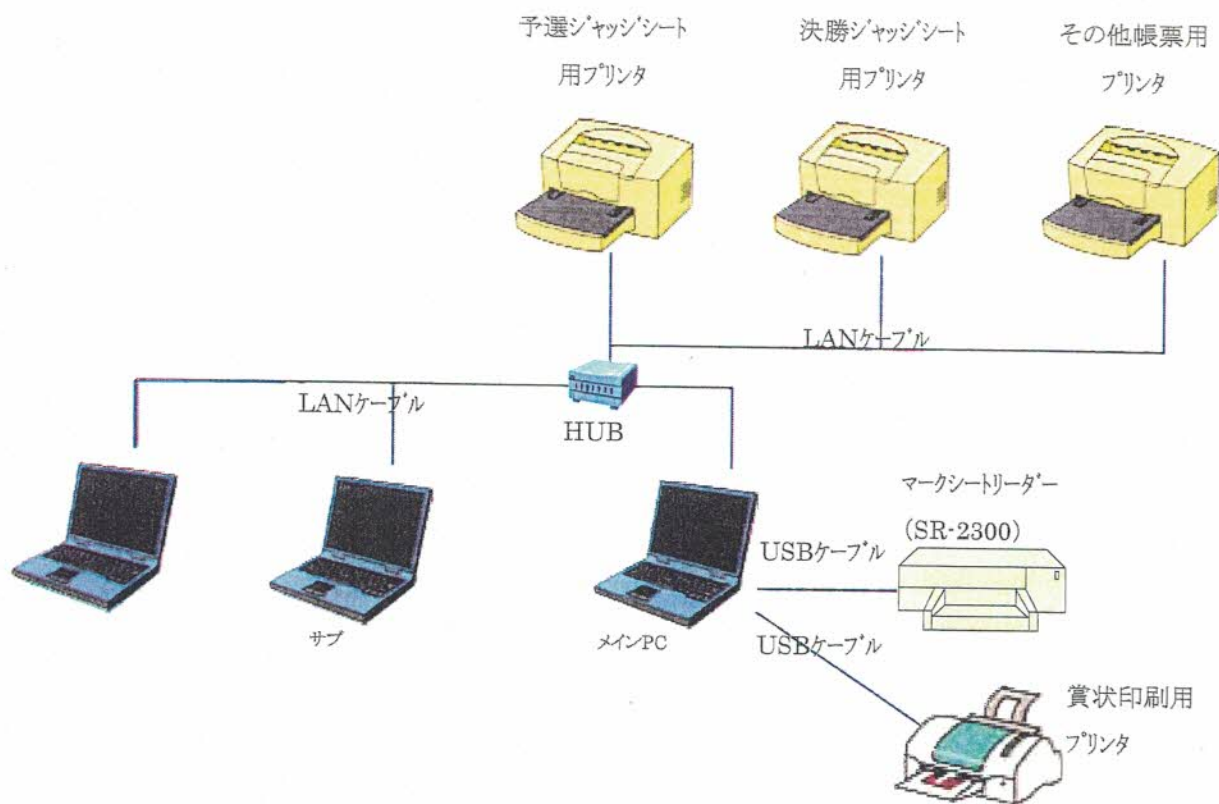
<u>a システムの構成</u>	4
<u>b USB フラッシュメモリの構成</u>	5
<u>c 新採点管理システムのインストール</u>	6
<u>1 システム起動</u>	11
<u>2 メインメニュー</u>	12
<u>3 動作環境設定</u>	14
<u>3-1 シートリーダー設定</u>	15
<u>3-2 プリンター設定</u>	15
<u>3-3 データ環境設定(PC 構成が 1 台の場合)</u>	16
<u>3-4 データ環境設定(PC 構成が 2 台以上の場合)</u>	16
<u>3-5 メイン PC 故障時の対応手順</u>	17
<u>3-6 バージョンチェック</u>	20
<u>4 競技会設定</u>	21
<u>4-1 競技会情報変更</u>	21
<u>4-2 審査員新規登録</u>	21
<u>4-3 審査員登録変更</u>	22
<u>5 部門設定</u>	23
<u>5-1 競技会タイトルの変更</u>	23
<u>5-2 種目設定</u>	23
<u>5-3 競技面数の設定</u>	24
<u>5-4 審査員担当設定</u>	25
<u>6 欠番登録</u>	27
<u>6-1 背番号追加設定</u>	27
<u>6-2 予選数・セレクト数・ヒート数設定</u>	27
<u>6-3 欠番登録</u>	27
<u>6-4 シード登録</u>	28
<u>6-5 ジャッジ会議用ヒート割表印刷</u>	28
<u>7 フリーパス処理</u>	29
<u>8 予選処理</u>	30
<u>8-1 ジャッジシート取り込み</u>	30
<u>8-2 手入力画面</u>	32
<u>8-3 予選仕切</u>	33
<u>8-3-1 採点(通過者判定)</u>	33
<u>8-3-2 次ラウンドヒート数設定</u>	34
<u>8-4 予選結果</u>	34
<u>8-4-1 予選結果(同点決勝を行わない場合)</u>	34
<u>8-4-2 予選処理(同点決勝を行う場合)</u>	35

<u>9 同点決勝処理</u>	36
<u>9・1 ジャッジシート取り込み</u>	36
<u>9・2 同点決勝結果</u>	37
<u>10 下位決勝処理</u>	38
<u>10・1 下位決勝表示の設定</u>	38
<u>10・2 下位決勝対象者抽出</u>	39
<u>10・3 ジャッジシート取り込み</u>	40
<u>10・4 下位決勝成績</u>	41
<u>11 決勝処理</u>	42
<u>11・1 ジャッジシート取り込み</u>	42
<u>11・2 総合成績</u>	43
<u>12 帳票印刷</u>	44
<u>13 ジャッジシート印刷</u>	45
<u>14 賞状印刷</u>	46
<u>15 競技会後処理</u>	47
<u>16 選手名簿メンテナンス</u>	48
<u>17 データ復帰</u>	49
<u>18 2 面競技の合流</u>	50
<u>19 部門分割設定～統合処理</u>	52
<u>20 セグエ集計</u>	55
<u>20・1 セグエ集計処理の流れ</u>	55
<u>20・2 セグエ集計処理開始</u>	56
<u>20・3 セグエ集計画面</u>	57

a システムの構成

・新採点管理システムの標準的なシステム構成は下図の通りです。

- － 使用する全ての PC は LAN ケーブルを接続して、さらに HUB に接続します。
- － 使用するプリンタは LAN ケーブルを接続して、さらに HUB に接続します。
- － マークシートリーダーは USB ケーブルで、PC と接続します。

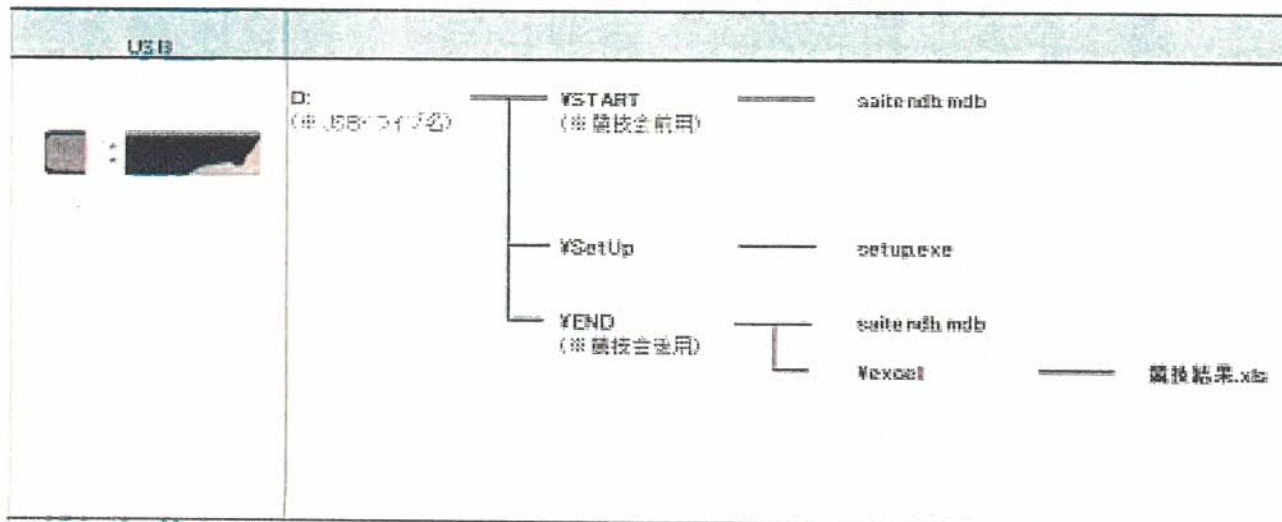


- ① メイン PC とは、マークシートリーダーを接続してジャッジシートの読み込みを行い、予選～決勝処理までの処理を行う PC を指します。
- ② サブ PC とは、メイン PC 障害時のバックアップとして機能させる PC を指します。ジャッジシートの読み込みはできませんが、ジャッジシートの印刷、各種帳票の印刷は行うことができます。
サブ PC は、大会の規模等の必要に応じて、何台でも追加することが可能です。
- ③ プリンタは標準構成として3台を推奨しますが、ジャッジシートや帳票印刷の度に用紙を入れ替えることで、1台～2台での構成も可能です。
- ④ 賞状を印刷する場合は、別途賞状印刷用プリンタが必要です。賞状印刷用プリンタはメインPC、サブPCのいずれかに直接接続します。

※メインPC1台での運用も可能ですが、PCの故障時に備えて、サブPCを用意することを推奨します。

b USB フラッシュメモリの構成

・新採点管理システムで使用する USB フラッシュメモリ内のフォルダ構成は以下の通りです。

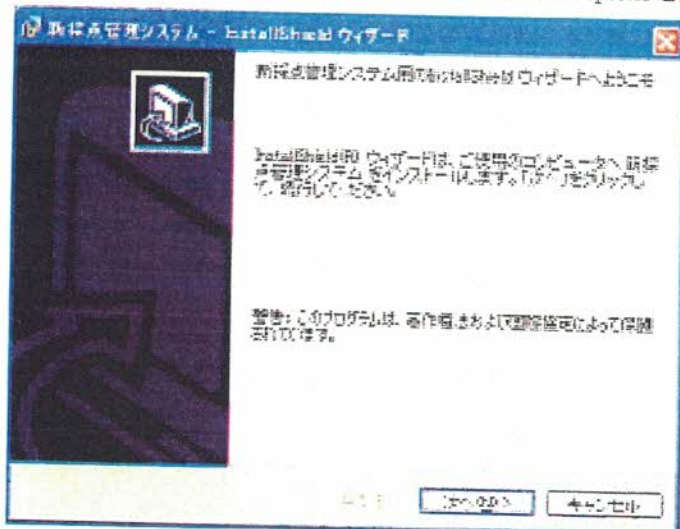


- ・ USBドライブの直下に START, END, SetUp という3つのフォルダがある構成になります。
- ・ START フォルダには、事務局から出力された採点管理データが saitenb.mdb の名前で格納されます。
 - ※ 事務局からメール等で受け取った saitenb.mdb を USB メモリに移す場合は、この場所に saitenb.mdb の名前で移してください。
- ・ SetUp フォルダには新採点管理システムの最新インストーラが setup.exe の名前で格納されます。
 - ※ 事務局からメール等で受け取った setup.exe を USB メモリに移す場合は、この場所に setup.exe の名前で移してください。
- ・ 競技会終了後、後処理を行うと、事務局取り込み用のデータが END フォルダ内にできます。
 - ※ 取り込み用のデータをメール等で事務局に渡す場合、このフォルダ内のファイルをメールに添付してください。

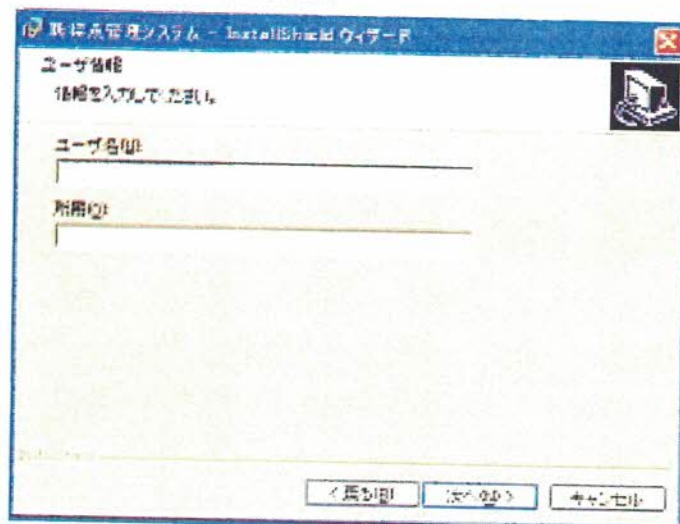
c 新採点管理システムのインストール



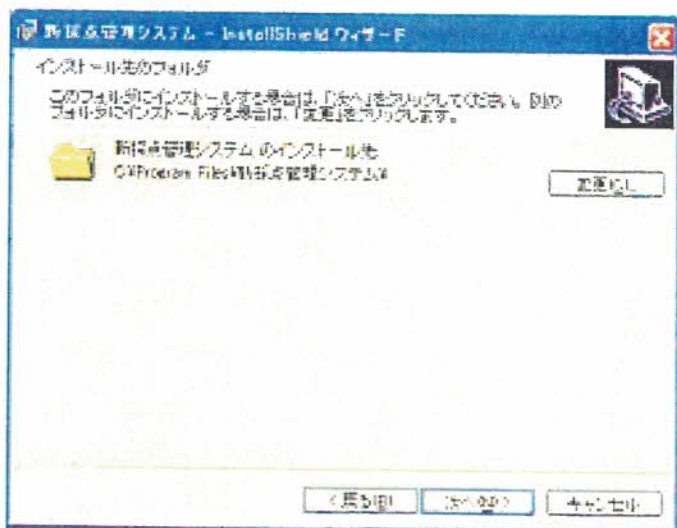
①USB メモリや CD-ROM などのメディアの中にある setup.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。



②「次へ」ボタンをクリックします。



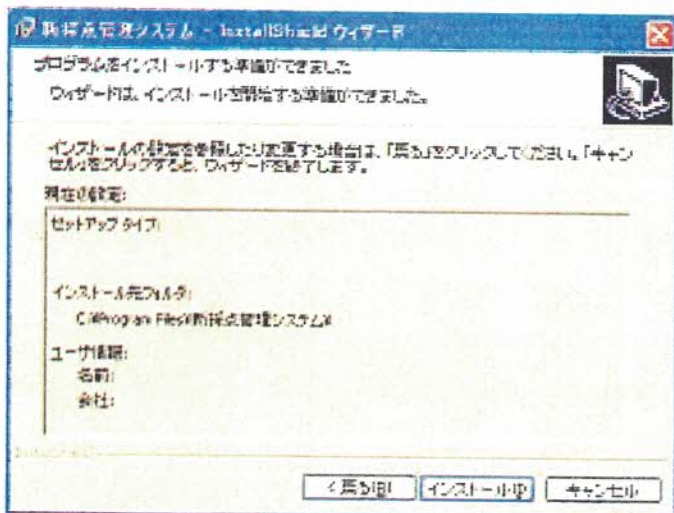
③ユーザ名と所属を入力(省略可)し、「次へ」ボタンをクリックします。



④表示されているインストール先でよければ「次へ」ボタンをクリックします。

変更する場合は「変更」ボタンをクリックし、別のフォルダを指定します。

※通常は変更する必要はありません。



⑤表示されている設定でインストールを開始する場合には「インストール」ボタンを、

設定を変更する場合は「戻る」ボタンをクリックします。

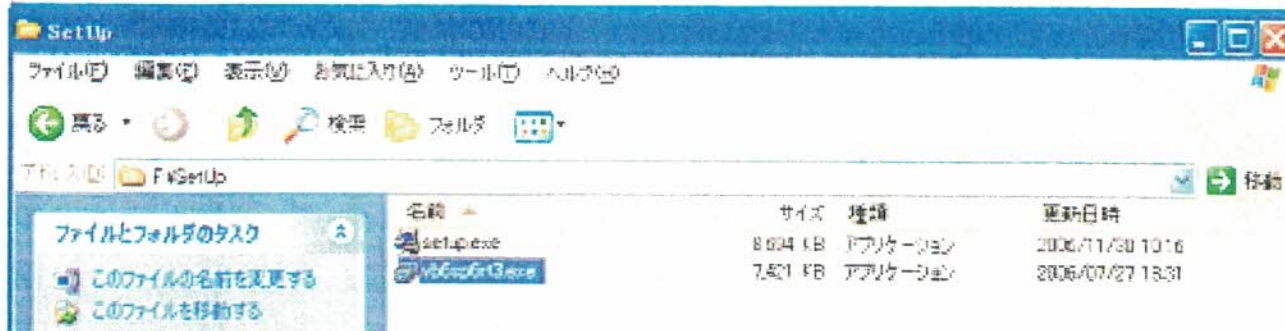


⑥「完了」ボタンをクリックしてインストールを完了します。

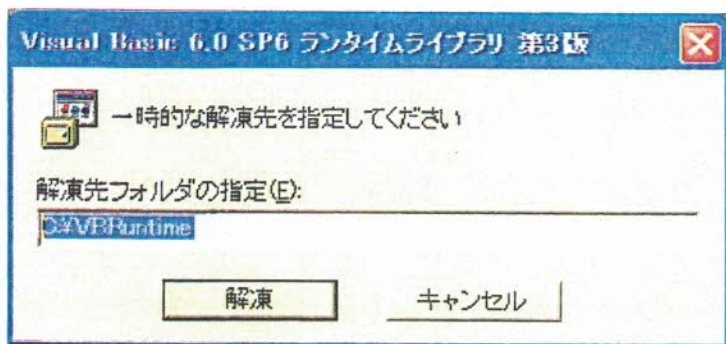
【採点管理システム起動後、画面に文字化けが起こった場合】

- ・ インストール後、画面に文字化けが発生した場合は、以下の手順でVB ランタイムをインストールして下さい。

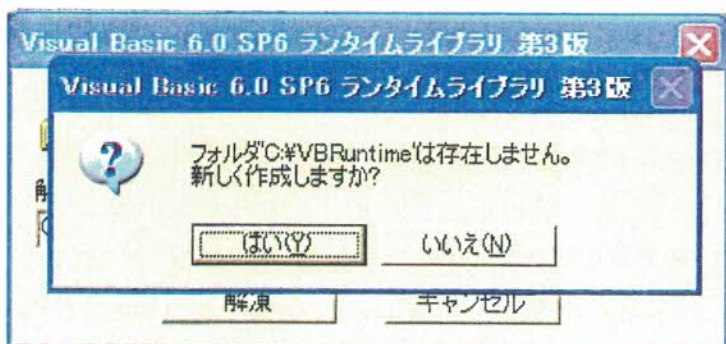
① USB メモリの下にある、「SetUp」フォルダ内、vb6sp6rt3.exe をダブルクリックしてください。



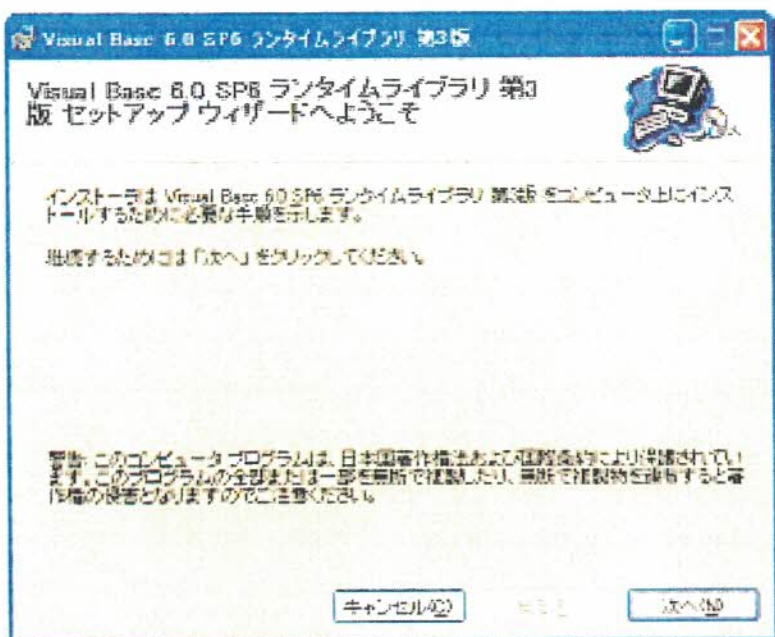
② 一時的な解凍先の指定画面が表示されます。「C:\VBRuntime」と入力して「解凍」ボタンをクリックしてください。



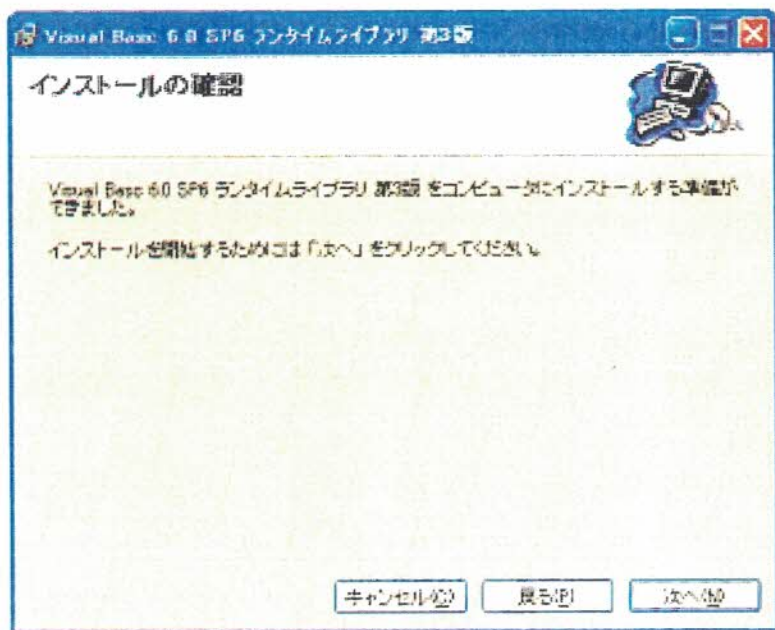
③「フォルダ C:\VBRuntime は存在しません。作成しますか？」というメッセージには「はい」をクリックして次へ進んでください。



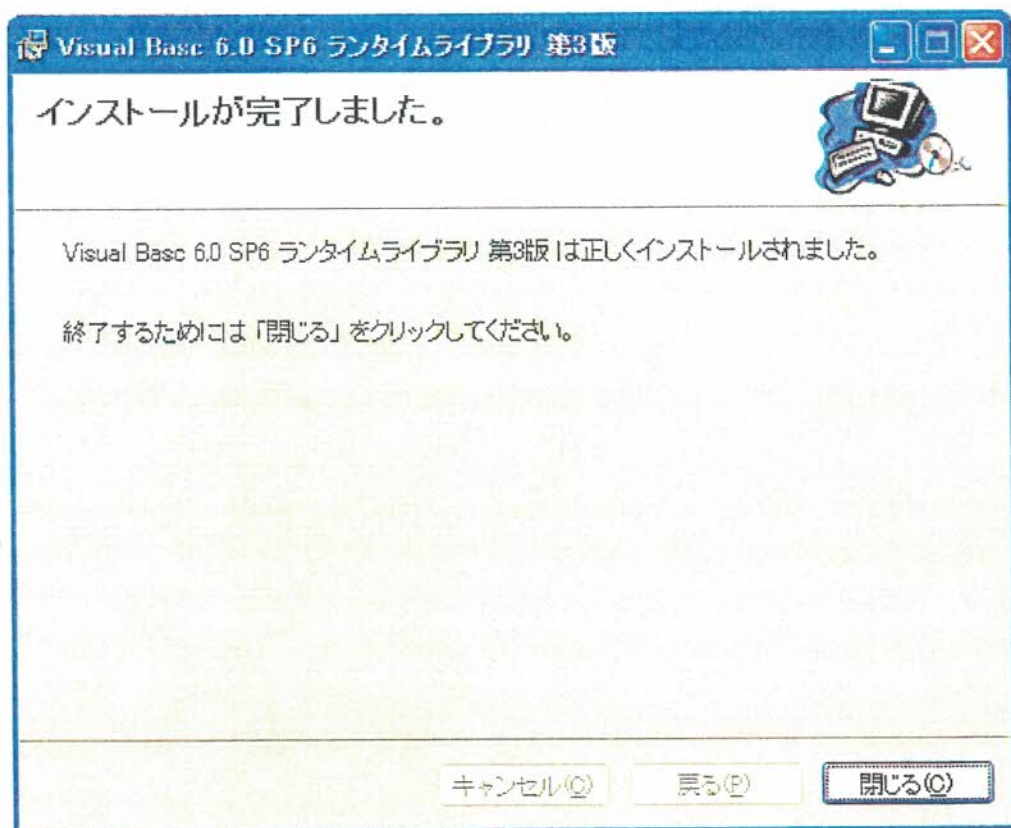
- ④「セットアップウィザードへようこそ」という画面が表示されます。「次へ」をクリックしてセットアップを続行してください。



- ⑤「インストールの確認」という画面が表示されます。「次へ」をクリックしてセットアップを続行してください。



⑥「インストールが完了しました。」というメッセージが出たら「閉じる」をクリックしてセットアップ完了です。



1 システム起動



↑ 図 1

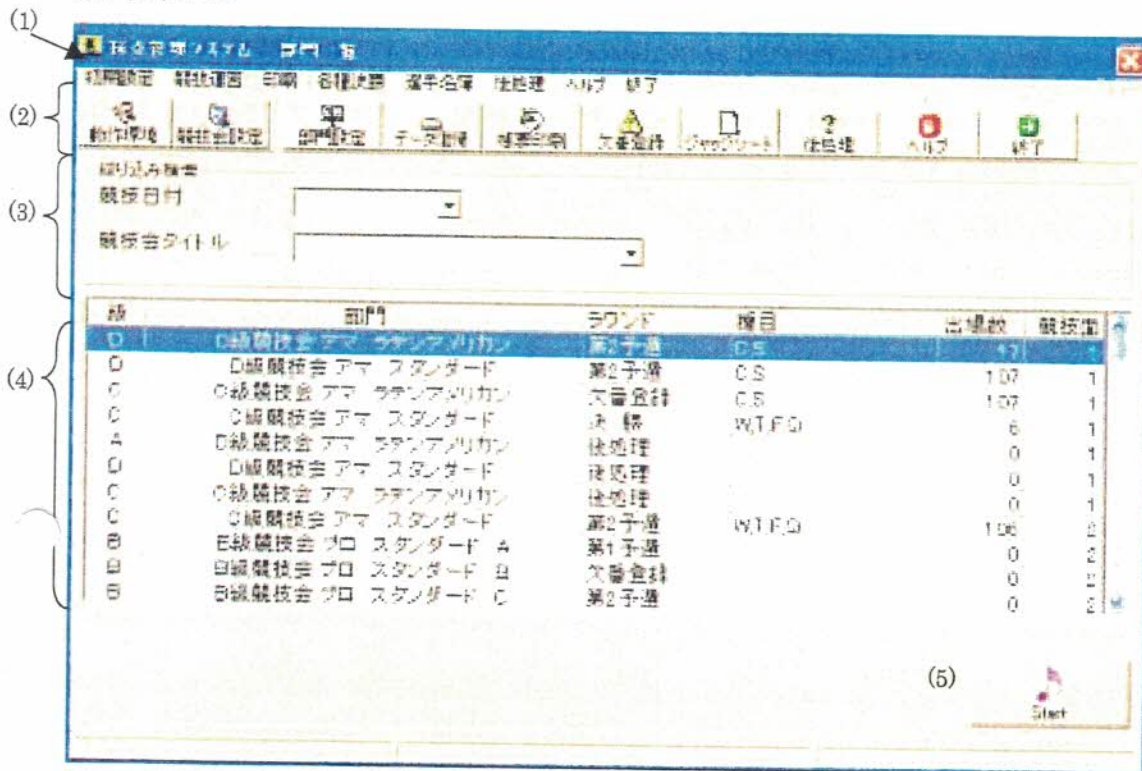
← 図 2

新採点管理システムを起動するには、図 1 のように

「スタート」ボタン→「全てのプログラム」→「新採点管理システム」→「新採点管理システム」をクリックするか、

図 2 のようにデスクトップの「新採点管理システム」のショートカットをダブルクリックします。

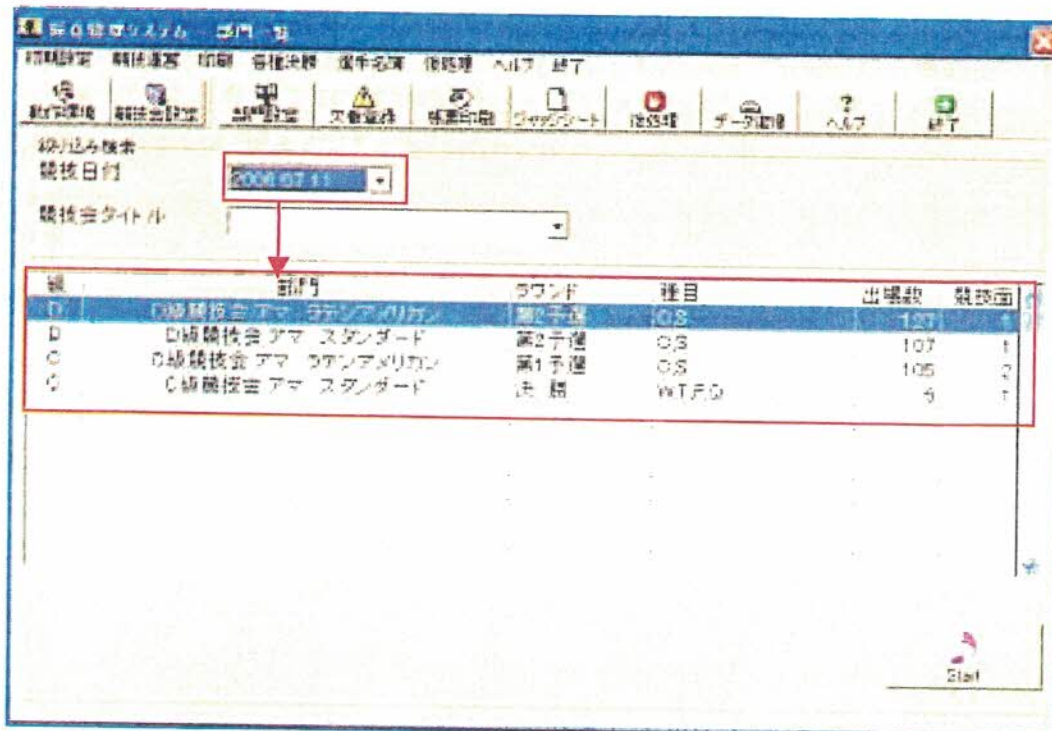
2 メインメニュー



①(1)の領域に各画面を起動するプルダウンメニューが表示されます。(詳細は表 1 参照)

②(2)の領域に各画面を起動するボタンメニューが表示されます。(詳細は表 1 参照)

③表示する部門を絞り込むには、(3)のリストから競技日付・競技会タイトルを指定します。



④(4)の表に部門一覧が表示されます。

表示される項目は「級」「部門」「ラウンド」「種目」「出場数」「競技面」です。

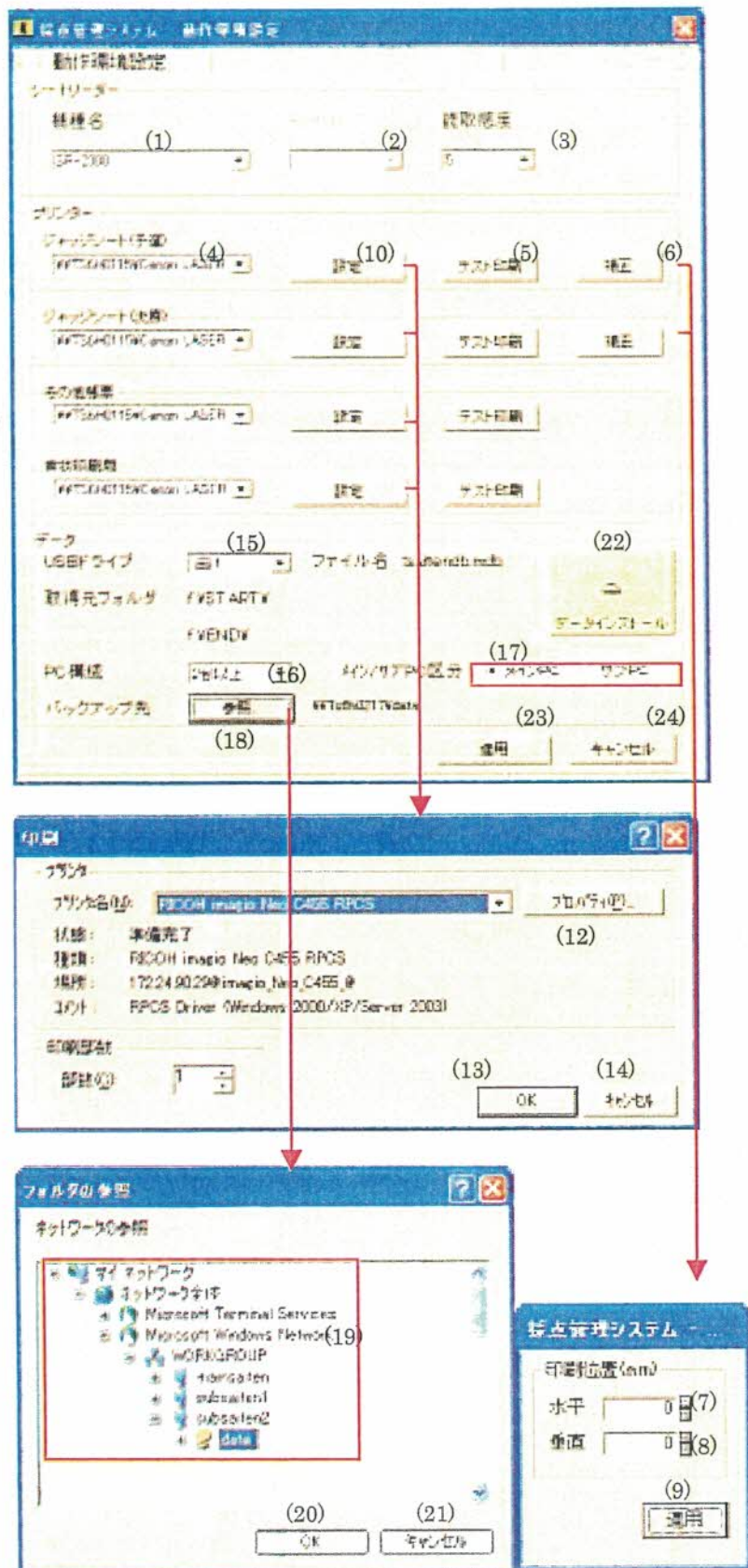
⑤選択された部門のラウンドに応じた処理を開始するには、(5)の「Start」ボタンをクリックします。

<表1>メニュー一覧

メニュー	初期設定	動作環境	シートリーダー、プリンター、事務所持ち出しデータのインストール設定を行います。(→ 3 動作環境設定)
		競技会設定	各競技会の競技会情報変更、審査員新規登録、審査員登録変更を行います。(→ 4 競技会設定)
		部門設定	各部門の競技会タイトルの変更、種目設定、競技面数の変更、審査員担当設定を行います。(→ 5 部門設定)
	競技運営	フリーパス	フリーパスの処理を行います。(→ 7 フリーパス)
		2面競技の合流	2面競技の合流処理を行います。(→ 18 2面競技の合流)
		部門の分割	部門を前半・後半に分割します。(→ 19 部門分割設定～統合処理)
		分割部門の統合	分割された部門を統合します。(→ 19 分割部門設定～統合処理)
	印刷	帳票印刷	各部門の各ラウンドの帳票部数を指定し、印刷します。(→ 12 帳票印刷)
		ジャッジシート印刷	ジャッジシートの種類、印刷する種目・審査員、マークの有無を設定します。(→ 13 ジャッジシート印刷)
		賞状印刷	決勝処理終了後に、賞状印刷を行います。(→ 14 賞状印刷)
	各種決勝	下位決勝	下位決勝の処理を行います。(→ 10 下位決勝処理)
		セグエ集計	セグエ集計の処理を行います。(→ 20 セグエ集計)
	選手名簿		各部門の出場選手の登録情報を追加または変更します。 (→ 16 選手名簿メンテナンス)
	後処理		競技会終了後の後処理、印刷、掲載用データ出力を行います。 (→ 15 競技会後処理)
	ヘルプ	ヘルプ	新採点管理システムのヘルプを表示します。
		バージョン情報	新採点管理システムのバージョン情報を表示します。
	終了		新採点管理システムを終了します。
ボタン	動作環境		周辺機器設定、PC構成、事務所持ち出しデータのインストール設定、バックアップ設定を行います。(→ 3 動作環境設定)
	競技会設定		各競技会の競技会情報変更、審査員新規登録、審査員登録変更を行います。(→ 4 競技会設定)
	部門設定		各部門の競技会タイトルの変更、種目設定、競技面数の変更、審査員担当設定を行います。(→ 5 部門設定)
	欠番登録		各部門の背番号追加設定、予選数・セレクト数・ヒート数設定、欠番登録、欠番一覧出力を行います。(→ 6 欠番登録)
	帳票印刷		各部門の各ラウンドの帳票部数を指定し、印刷します。 (→ 12 帳票印刷)
	ジャッジシート		ジャッジシートの種類、印刷する種目・審査員、マークの有無を設定しジャッジシートを印刷します。(→ 13 ジャッジシート印刷)
	賞状印刷		決勝処理終了後に、賞状印刷を行います。(→ 14 賞状印刷)
ボタン	後処理		競技会終了後の後処理、印刷、掲載用データ出力を行います。 (→ 15 競技会後処理)
	データ復帰		各部門の現在ラウンドを巻き戻し、再仕切または再読込を行います。 (→ 17 データ復帰)
	ヘルプ		新採点管理システムのヘルプを表示します。
	終了		新採点管理システムを終了します。
	Start		現在のラウンドに対応した処理を開始します。 (→ 6 欠番登録 、 8 予選処理 、 9 同点決勝処理 、 11 決勝処理 、 15 後処理)

3 動作環境設定

マークシートリーダー、プリンター、事務所持ち出しデータのインストール設定を行います。



3-1 シートリーダー設定

①(1)のリストからシートリーダー機種を選択します。

②(2)のリストからポート番号を選択します。

※本システムはシートリーダー SR-2300 USB 接続を前提としているため、ポート番号の設定は未サポートです。

③(3)のリストから読み取り感度を選択します。

数値が小さいほど、マークが薄くても認識できるようになります。

3-2 プリンター設定

■予選ジャッジシート印刷用プリンターの設定

①(4)のリストからプリンターの機種を選択します。

②(5)の「テスト印刷」ボタンをクリックすると、テスト印刷を行います。

③(6)の「補正」ボタンをクリックすると、プリンターの印刷位置補正ダイアログを開きます。

印刷位置補正ダイアログでは、(7)の上下ボタンで水平位置を、(8)の上下ボタンで垂直位置を調節します。

※水平位置を正にすると右へ、垂直位置を正にすると下へ調節します。単位は mm です。

(9)の「適用」ボタンをクリックすると、印刷位置補正を適用します。

④(10)の「設定」ボタンをクリックすると、印刷ダイアログを開きます。

(12)の「プロパティ」をクリックするとプロパティを開きます。

(13)の「OK」ボタンをクリックすると印刷設定を適用します。

※印刷設定を破棄して終了する場合は、(14)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

■決勝ジャッジシート印刷用プリンターの設定

上記「予選用ジャッジシートプリンタの設定」と同様です。

■その他帳票印刷用プリンターの設定

①(4)のリストからプリンターの機種を選択します。

②(5)のテスト印刷ボタンをクリックすると、テスト印刷を行います。

③(10)の設定ボタンをクリックすると、印刷ダイアログを開きます。

(12)の「プロパティ」ボタンをクリックするとプロパティを開きます。

(13)の「OK」ボタンをクリックすると印刷設定を適用します。

※印刷設定を破棄して終了する場合は、(14)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

■賞状印刷用プリンターの設定

①(4)のリストからプリンターの機種を選択します。

②(5)のテスト印刷ボタンをクリックすると、テスト印刷用の賞状印刷画面が起動します。(→ [14 賞状印刷](#))

③(10)の設定ボタンをクリックすると、印刷ダイアログを開きます。

(12)の「プロパティ」ボタンをクリックするとプロパティを開きます。

(13)の「OK」ボタンをクリックすると印刷設定を適用します。

※印刷設定を破棄して終了する場合は、(14)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

3-3 データ環境設定(PC 構成が 1 台の場合)

- ①USB メモリを PC に接続します。
- ②(15)のリストから USB ドライブを指定します。
- ③(16)のリストで「1 台」を選択します。
- ④USB ドライブにある事務局持出しデータを PC にコピーするには、(22)の「データインストール」ボタンをクリックします。
※競技開始後には絶対にクリックしないで下さい。データが初期化されてしまいます。
- ⑤動作環境設定を保存して終了するには、(23)の「適用」ボタンをクリックします。
※設定を破棄して終了するには、(24)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

3-4 データ環境設定(PC 構成が 2 台以上の場合)

■メイン PC の設定

- ①USB メモリを PC に接続します。
- ②(15)のリストから USB ドライブを指定します。
- ③(16)のリストで「2 台以上」を選択します。
- ④(17)のリストで「メイン PC」を選択します。
- ⑤バックアップ先を指定するには、(18)の参照ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを開き、
(19)のネットワーク一覧からサブ PC 内の data フォルダを指定します。
設定を適用するには(20)の「OK」ボタンをクリックします。
※設定を破棄して終了するには、(21)の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- ⑥USB ドライブにある事務局持出しデータを PC にコピーするには、(22)の「データインストール」ボタンをクリックします。
※競技開始後には絶対にクリックしないで下さい。データが初期化されてしまいます。
- ⑦動作環境設定を保存して終了するには、(23)の「適用」ボタンをクリックします。
※設定を破棄して終了するには、(24)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

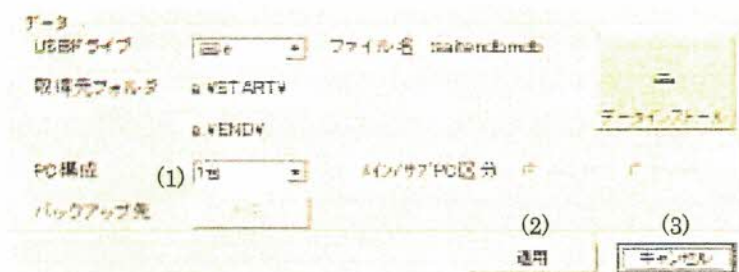
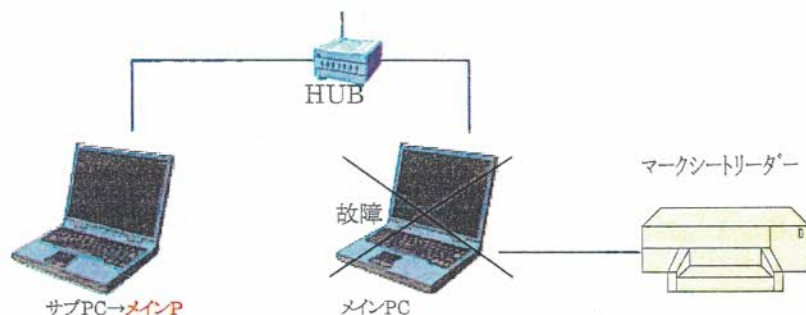
■サブ PC の設定

- ①(16)のリストで「2 台以上」を選択します。
- ②(17)のリストで「サブ PC」を選択します。
- ③DB 接続先を指定するには、(18)の参照ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを開き、
(19)のネットワーク一覧からメイン PC 内の data フォルダを指定します。
設定を適用するには(20)の「OK」ボタンをクリックします。
※設定を破棄して終了するには、(21)の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- ④動作環境設定を保存して終了するには、(23)の「適用」ボタンをクリックします。
※設定を破棄して終了するには、(24)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

3.5 メイン PC 故障時の対応手順

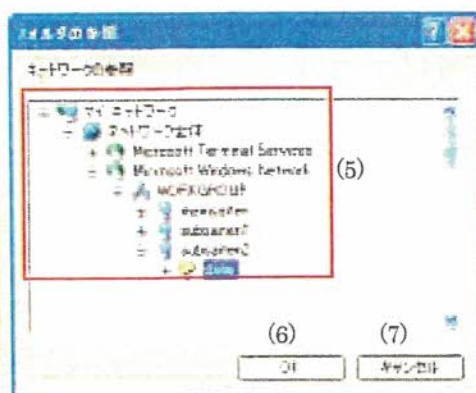
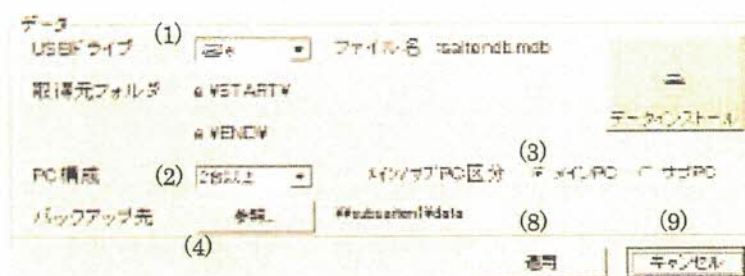
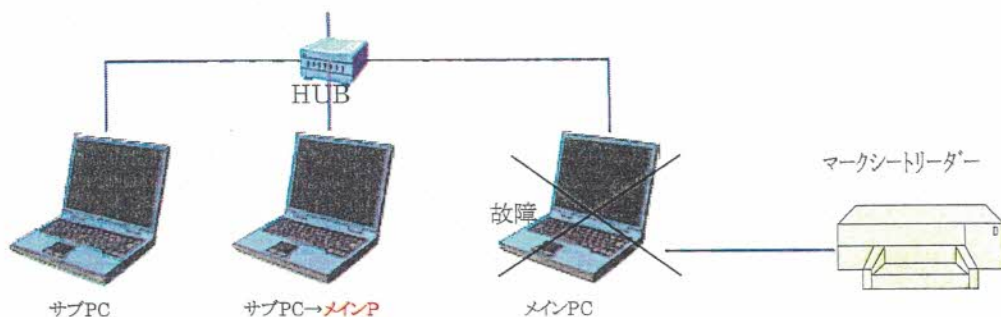
サブ PC のうち 1 台をメイン PC に変更することができます。

■ 2 台構成だった場合



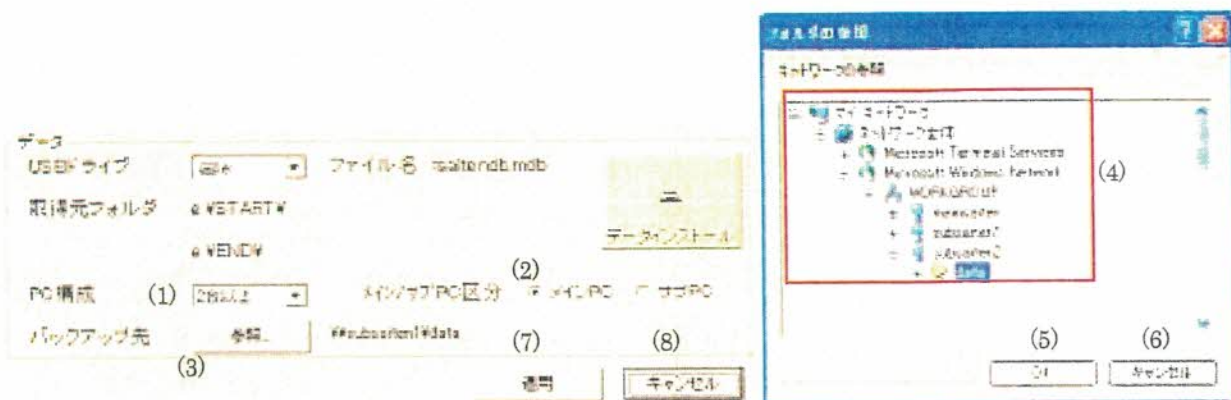
- ①サブ PC の新採点管理システムで動作環境設定画面を開きます。
 - ②(1)のリストで「1 台」を選択します。
 - ③動作環境設定を保存して終了するには、(2)の「適用」ボタンをクリックします。
- ※設定を破棄して終了するには、(3)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

■ 3 台以上の構成だった場合



◇メイン PC に変更する PC の設定

- ①メイン PC に変更したいサブ PC の新採点管理システムで動作環境設定画面を開きます。
- ②(1)のリストから USB ドライブを指定します。
- ③(2)のリストで「2 台以上」を選択します。
- ④(3)のリストで「メイン PC」を選択します。
- ⑤バックアップ先を指定するには、(4)の参照ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを開き、(5)のネットワーク一覧からサブ PC 内の data フォルダを指定します。
- 設定を適用するには(6)の「OK」ボタンをクリックします。
- ※設定を破棄して終了するには、(7)の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- ⑥動作環境設定を保存して終了するには、(8)の「適用」ボタンをクリックします。
- ※設定を破棄して終了するには、(9)の「キャンセル」ボタンをクリックします。



◇サブ PC として使用する PC の設定

※メイン PC に変更しないサブ PC 全てに以下の設定が必要です。

①サブ PC として使用する新採点管理システムで動作環境設定画面を開きます。

②(1)のリストで「2 台以上」を選択します。

③(2)のリストで「サブ PC」を選択します。

④DB 接続先を指定するには、(3)の参照ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを開き、

(4)のネットワーク一覧からメイン PC 内の data フォルダを指定します。

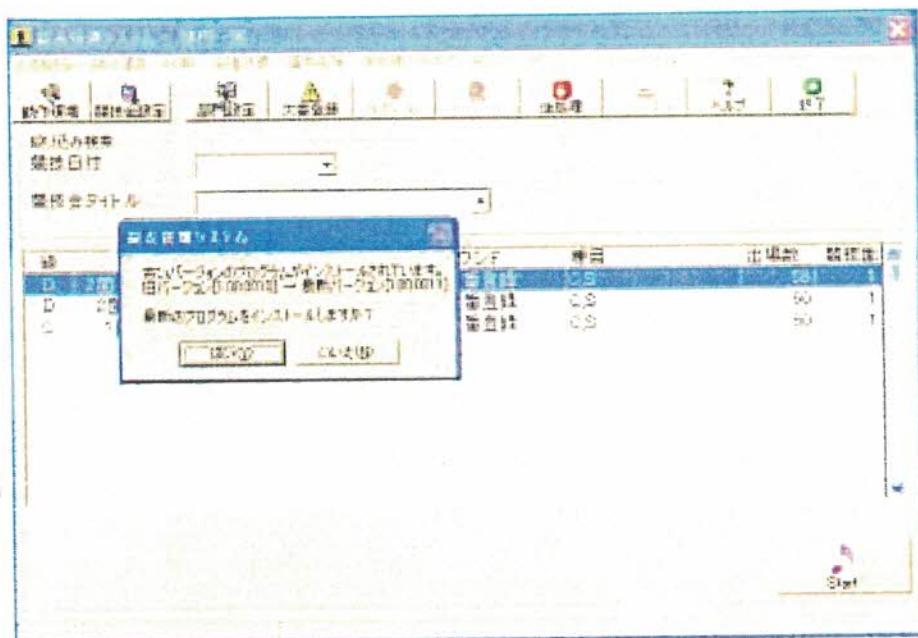
設定を適用するには(5)の「OK」ボタンをクリックします。

※設定を破棄して終了するには、(6)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

⑤動作環境設定を保存して終了するには、(7)の「適用」ボタンをクリックします。

※設定を破棄して終了するには、(8)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

3-6 バージョンチェック



動作環境設定画面を閉じた後バージョンチェックが行われ、

バージョンが古い場合には最新のプログラムをインストールするかを尋ねるダイアログが開きます。

「はい」ボタンをクリックするとインストーラが起動し、インストールを開始します。

(→[新採点管理システムのインストール](#))

※インストールせずに閉じるには「いいえ」ボタンをクリックします。

4 競技会設定

各競技会の競技会情報変更、審査員新規登録、審査員登録変更を行います。

競技会設定

会場名称 (1) 東京ドーム

競技日付 (2) 2006/07/11

(3) ☐ Exchangeをラウンド毎に行う

最大審査員No (4) 10

審査員 (5)

No	審査員名
01	関谷英俊
02	山川博次
03	岡島弘之
04	福田亮
05	
06	堺義彦
07	御津佳美
08	
09	木下瑞穂
10	松原隆

(6) 関谷英俊 (7) 登録・変更 (8) (9) 削除 (10)

(11) 保存 (12) キャンセル

採点管理システム ...

2006年 7月

25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

今日: 2006 07 26

4-1 競技会情報変更

①(1)の入力欄で会場名称を設定します。

②(2)の入力欄で競技日付を設定します。

クリックするとカレンダーが表示され、カレンダーの日付をクリックするとその日付に変更します。

③(3)のチェックで Exchange をラウンドごとに行うかどうかを設定します。

4-2 審査員新規登録

①(4)の上下ボタンで最大審査員 No を設定します。

最大審査員 No を増加させた場合は、(5)の審査員リストに増加分空白行が追加されるので、

登録をしたい行をクリックして選択し、(6)の入力欄に審査員名を入力した後(7)の「登録・変更」ボタンをクリックすると審査員名が登録されます。

最大審査員 No を減少させた場合は、(5)の審査員リストの下から行が減少分削除されます。

※登録をしたい行を直接クリックする他に、

(8)の「<」ボタンで上の行を、(9)の「>」ボタンで下の行を選択することもできます。

②競技会設定を保存して終了するには、(11)の保存ボタンをクリックします。

※競技会設定を破棄して終了するには、(12)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

4.3 審査員登録変更

①(5)の審査員リストで変更をしたい行をクリックして選択し、(6)の入力欄に審査員名を入力した後

(7)の「登録・変更」ボタンをクリックすると、審査員名が変更されます。

審査員名を消去するには、行を選択した後(10)の「削除」ボタンをクリックします。

※登録をしたい行を直接クリックする他に、

(8)の「<」ボタンで上の行を、(9)の「>」ボタンで下の行を選択することもできます。

②競技会設定を保存して終了するには、(11)の保存ボタンをクリックします。

※競技会設定を破棄して終了するには、(12)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

5 部門設定

各部門の競技会タイトルの変更、種目設定、競技面数の変更、審査員担当設定を行います。

採点管理システム - 部門設定

部門設定 D級競技会 アマ スタンダード 欠番登録

競技の性質 (14) 審査員担当

部門名称 アマ スタンダード

競技会タイトル (1) D級競技会

種目数

	(2)	(7)
予選	2	C S
(3) 最終予選	2	C S
準決勝	2	C S
決勝	2	C S

種目設定

(4) 標準設定 (5) 任意設定

Waltz (6)
Tango
Fox Trot
Quick Step
V.Waltz

(8) 全種目を表示 複写 消去

(9) (10)

競技面数 (11) 1面競技 2面競技

キャンセル 保存

(13) (12)

5-1 競技会タイトルの変更

①(1)の入力欄で競技会タイトルを設定します。

5-2 種目設定

①(2)の上下ボタンで各ラウンドの種目数を設定します。

キーボードから直接入力することもできます。

②(3)のリストから「最終予選」「準々決勝」のどちらかを選択します。

③各ラウンドの種目を設定します。

■標準設定をする場合

(4)の「標準設定」ボタンをクリックすると、競技規則で定められた種目パターンが設定されます。

※種目パターンが複数存在する場合は、クリックすることに切り替わります。

■任意設定をする場合

(5)の「任意設定」ボタンをクリックすると、(6)にスタンダード競技またはラテン競技の種目リストが現れ、ラウンドごとに個別に種目を設定することができます。

※スタンダード競技は Cha Cha、Samba、Runba、Paso Doble、Jive を、

ラテン競技は Waltz、Tango、Fox Trot、Quick Step、V.Waltz を指します。

また、全種目を表示させるには、(8)のチェックをオンにします。

(7)の種目一覧で設定をしたいマスをクリックして選択し、(6)の種目リストで種目をダブルクリックすると設定されます。

他のラウンドに種目設定を複写したい場合は、(7)の種目一覧で複写をしたいラウンドをクリックして選択し、

(9)の「複写」ボタンをクリックします。

他のラウンド全てに種目設定が複写されます。

※種目設定を消去したい場合は、消去したいラウンドの種目をクリックして選択し、(10)の「消去」ボタンをクリックします。

種目数は 0 に設定されます。

5.3 競技面数の設定

①(11)の選択ボタンで「1 面」か「2 面」のどちらかを選択します。

②部門設定を保存して終了するには(12)の「保存」ボタンをクリックします。

※部門設定を破棄して終了するには、(13)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

(14)のタブをクリックすると、「審査員担当」タブへ移動します。

※「競技の性質」タブ、「審査員担当」タブともに設定がされていなければ、(13)の「保存」ボタンが有効になりません。

5-4 審査員担当設定

■ 1面競技の場合

採点管理システム - 部門設定

部門設定 D級競技会 アマ スタANDARD 欠番登録

競技の性質 審査員担当

1面毎審査員数

(1) 3 5 7 9 11 13 15

(2) 10

グループ1

(4) 01 関根宏行 02 福嶋浩 03 松本晋 04 岡田俊彦 05 熊谷ひろし

(5)

(8) キャンセル (7) 保存

①(1)の選択ボタンから1面あたり審査員数を選択します。

選択肢にない審査員数を設定したい場合は(2)の選択ボタンをクリックして選択し、その横の入力欄に審査員数をキーボードから入力するか、上下ボタンで審査員数を設定します。

②担当する審査員を決定するには、

(3)の未割り当て審査員リストで担当させたい審査員をクリックして選択し、(4)の「→」ボタンをクリックします。

担当を解除する場合は、

(5)の担当審査員リストで担当を解除したい審査員をクリックして選択し、(6)の「←」ボタンをクリックします。

③部門設定を保存して終了するには、(7)の「保存」ボタンをクリックします。

※部門設定を破棄して終了するには、(8)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

■2面競技の場合

①(8)の選択ボタンから1面あたり審査員数を選択します。

選択肢にない審査員数を設定したい場合は(9)の選択ボタンをクリックして選択し、

その横の入力欄に審査員数をキーボードから入力するか、上下ボタンで審査員数を設定します。

②担当する審査員を決定するには、

(10)の未割り当て審査員リストで担当させたい審査員をクリックして選択し、

グループIに登録する場合は(11)の「→」ボタンを、グループIIに登録する場合は(14)の「→」ボタンをクリックします。

担当を解除する場合は、

(12)または(15)の担当審査員リストで担当を解除したい審査員をクリックして選択し、

(13)または(16)の「←」ボタンをクリックします。

③(17)のボタンで各審査員グループが担当する面を設定します。

ボタンをクリックすると担当する面が反転します。

(18)のチェックをオンにすると、担当する面を種目数の半分で交代するように自動的に設定されます。

(18)のチェックをオフにすると、

審査員グループIは常にFloorAを、審査員グループIIは常にFloorBを担当するように自動的に設定されます。

④部門設定を保存して終了するには、(19)の「保存」ボタンをクリックします。

※部門設定を破棄して終了するには、(20)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

6 欠番登録

各部門の背番号追加設定、予選数・セレクト数・ヒート数設定、欠番登録、欠番一覧出力を行います。
ラウンドが欠番登録の部門でのみ設定できます。

採点管理システム - 欠番登録

欠番登録 0級競技会 アマ ラテンアメリカン 欠番登録

使用背番号 1 番から (1) 107 人 107 (2) 人数の変化を設定に反映する ☒

予選数 (3) 4

セレクト (5) ヒート (4)

1	2	3	最終	率
48	0	3	2	5
12	4	4	3	1

欠番 (7)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	7	24								
2										
3										

1次 (10) 2次 (13)

欠番 (6) 解除 (8) 1次 (9) 解除 (11) 2次 (12) 解除 (14) キャンセル (15) 適用 (16)

6-1 背番号追加設定

※当日受付で参加者が増加した時のための機能です。

①(1)の上下ボタンで使用背番号の最大を設定します。最終背番号も表示されます。

(2)のチェックをオンにすると、

参加者数の変化に合わせて予選数、セレクト数、ヒート数の値が動的に変化するようにします。

6-2 予選数・セレクト数・ヒート数設定

①(3)の上下ボタンで予選数を設定します。

②セレクト数・ヒート数の標準パターンを(4)の上下ボタンで選択します。

③セレクト数・ヒート数を手入力する場合は、(5)の入力欄にキーボードから直接入力します。

※初回ラウンドがフリーパスの場合、実際に通過する人数を設定して下さい。

6-3 欠番登録

①欠番登録をするには、(6)の入力欄に欠番にしたい番号をキーボードから入力し、Enterキーを押します。

欠番背番号が(7)の欠番一覧に追加されます。

※欠番登録を解除するには、(7)で欠番登録を解除したい背番号をクリックして選択し、(8)の「解除」ボタンをクリックします。

6.4 シード登録

①1次シード登録をするには(9)の入力欄に、2次シード登録をするには(12)の入力欄にシードにしたい番号をキーボードから入力し、Enter キーを押します。

1次シード背番号が(10)の1次シード一覧に、2次シード背番号が(13)の2次シード一覧追加されます。

※シード登録を解除するには、(10)または(13)でシード登録を解除したい背番号をクリックして選択し、(11)または(14)の「解除」ボタンをクリックします。

②欠番登録設定を保存して出力タブへ移動するには、(16)の「適用」ボタンをクリックします。

※欠番登録設定を破棄して終了するには、(15)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

6.5 ジャッジ会議用ヒート割表印刷

選手管理システム - 欠番登録

欠番登録 0級競技会 アマ ラテンアメリカン 欠番登録

欠番登録 出力

ラウンド表現

No	出場	HT	UP	名称
1	107	12	48	第1予選
2	48	4	6	第2予選
3	6	4	3	第3予選
4	3	3	2	最終予選
5	2	1	6	準決勝
6	6	1		決勝

基本印刷

(14) ☐ 欠番の転ったヒート割表を印刷する

(15) 枚

(16) 印刷

①帳票印刷画面を開くとともに欠番一覧付きヒート割表も印刷するには、

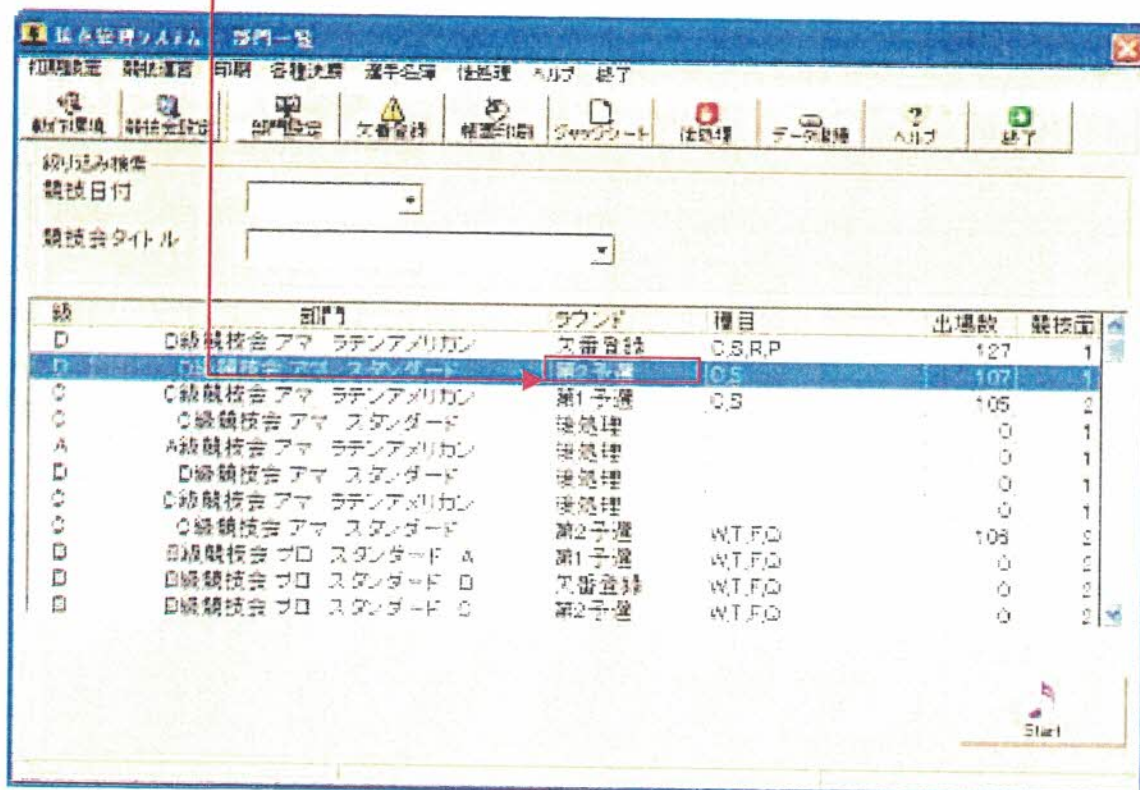
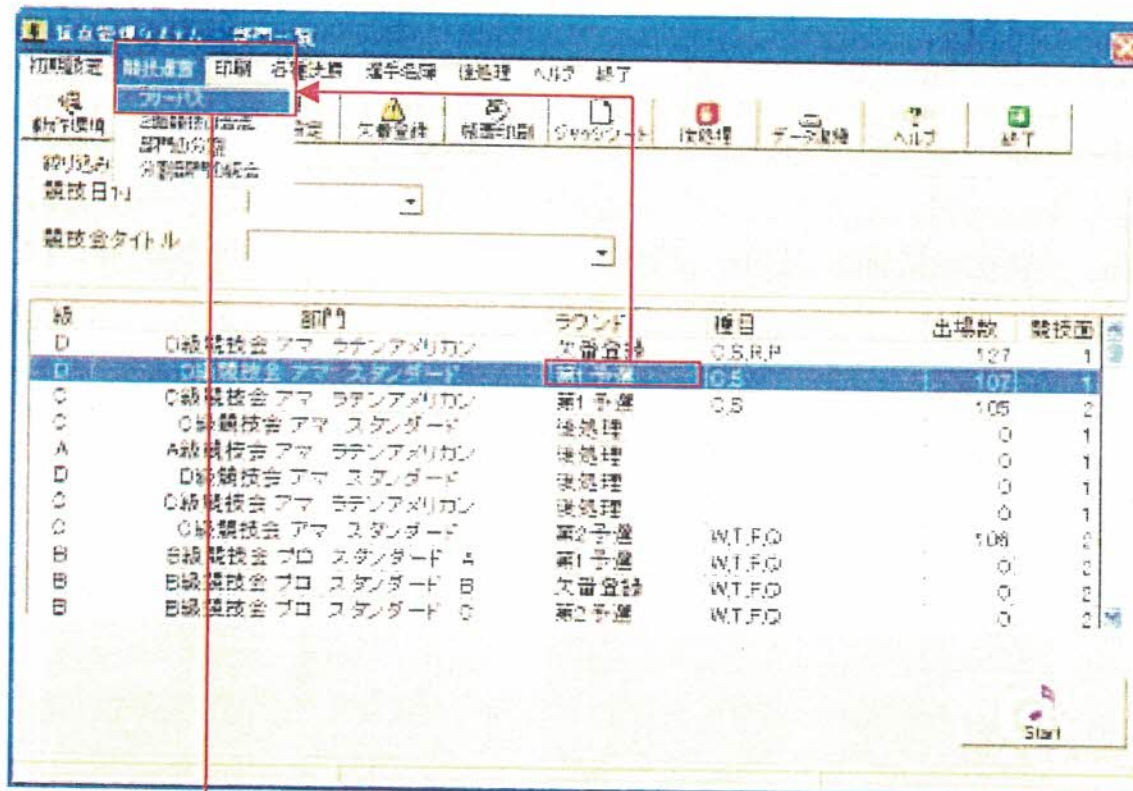
(14)のチェックをオンにして(15)で欠番一覧付きヒート割表の印刷部数を設定した後、(16)の「印刷」ボタンをクリックします。

※欠番一覧付きヒート割表を印刷する場合、(15)の設定を1以上にする必要があります。

7 フリーパス処理

選択された部門が初回ラウンドの場合のみ選択できる処理です。

参加選手全員が初回ラウンドを通過したものとして処理し、ラウンドを次に進めます。



8 予選処理

予選ジャッジシート取り込み・通過者判定の処理を行います。

8-1 ジャッジシート取り込み

ジャッジシートを読み取った結果を表示します。

採点管理システム - 予選処理

予選ジャッジ取込		D級競技会 アマ ラテンアメリカン		第1 予選																													
過不足 (5) 審査員 02 山川博次 種目名 C セレクト数 64 選択数 64 差 0 (4) (6) 没収 (7) 確認 HELP (8) 通過 (9) 手入力を行う		<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>審査員</th> <th>C</th> <th>S</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>関谷英俊</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>山川博次</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>岡島弘之</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>福田亮</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>森義則</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 競技人数 (3) 127 選択人数 64		No	審査員	C	S	01	関谷英俊	●		02	山川博次	○		03	岡島弘之			04	福田亮			05	森義則			(2)				(1) ジャッジシート読取 (11) 一時保存 (12) キャンセル (10) 適用	
No	審査員	C	S																														
01	関谷英俊	●																															
02	山川博次	○																															
03	岡島弘之																																
04	福田亮																																
05	森義則																																
(2)																																	

①シートリーダーかこからジャッジシートを読み取るには、(1)の「ジャッジシート読取」ボタンをクリックします。

(2)の表にはジャッジシートの読み取り状況が一覧表示されます。

表示される項目は、「審査員 No」「審査員名」「種目」「各種目の読み取り状況」です。

各種目の読み取り状況には次の種類があります。

空白 …未読み取り

○ …読み取り中

● …読み取り完了、選択数とセレクト数が等しい

× …読み取り完了、選択数とセレクト数が等しくない(エラー)

(3)の領域には「競技人数」「選択人数」が表示されます。

また、(2)の読み取り状況一覧で選択されているマスの情報が(5)に表示されます。

表示される項目は、「審査員 No」「審査員名」「種目名」「セレクト数」「選択数」「セレクト数と選択数の差」です。

※エラーが発生した場合は読み取りを一時停止し、(4)の領域にエラーの詳細を表示します。

②読み取り内容を破棄するには、(6)の「没収」ボタンをクリックします。

③読み取り内容を確認するには、(7)の「確認 HELP」ボタンをクリックします。

手入力画面が読み取り専用で開きます。

- ④一時停止中の読み込み内容を予選成績データに反映し、
ジャッジシートの読み取りを再開するには(8)の「通過」ボタンをクリックします。
※ジャッジシート読み取り中は(2)の表での操作ができません。
- ⑤読み取り情報を修正するには、(9)のチェックをオンにした後、(2)の表で編集したいマスをクリックします。
手入力画面が編集可能な状態で開きます。
※(9)のチェックがオフの状態でもマスをクリックすると、手入力画面が読み取り専用で開きます。
(→8・2 手入力画面)
- ⑥予選処理を適用するには、(10)の「適用」ボタンをクリックします。
予選処理を一時的に保存するには、(11)の「一時保存」ボタンをクリックします。
※予選処理を破棄して終了するには、(12)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

8-2 手入力画面

ジャッジシートから読み取った情報を手動で修正します。

採点管理システム - 予選得点入力/表示

シート手入力[更新]
(2)

シート情報
審査員番号 07
御津佳美
種目名 C

セレクト数 36
計測数 36
差 0

(5)  適用

(6)  キャンセル

D級競技会 アマ スタANDARD

第2予選

(1)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	×	○	×	×	×	○	×	×	×
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
×	×	○	×	×	×	○	×	○	×
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
×	○	×	○	×	×	×	×	○	×
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
○	×	×	○	×	×	○	×	×	×
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
×	×	○	×	×	○	×	×	○	○

(3) ← (4) →

①(1)の領域に読み取り内容が表示されます。

通過の可否を反転させるには、反転させたい背番号のボタンをクリックします。

クリックすることにより可否が切り替わります。

(3)の「←」ボタンをクリックすると前ページへ、(4)の「→」ページをクリックすると次ページを表示します。

また、(2)の領域にシート情報が表示されます。

表示される項目は、「審査員 No」「審査員名」「種目名」「セレクト数」「選択数」「セレクト数と選択数の差」です。

②読み取り内容の変更を適用するには、(5)の「適用」ボタンをクリックします。

※変更を破棄して終了する場合は、(6)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

8-3 予選仕切

予選を通過する選手を決定します。

採点管理システム - 予選処理[2]

予選仕切		D級競技会 アマ スタダード			第2予選	
(1)					(2)	
点/人	点/人	点/人	点/人	点/人	競技人数	107
5 / 3	4 / 10	3 / 19	2 / 39	1 / 26	選択人数	36
0 / 10					通過人数	71
					仕切点数	3
					ヒート数	4
					平均人数	9
					同点あり	
					☐ 同点決勝を行う	
					(3)	
次ラウンドヒート数					(7) キャンセル	
(5) リセット					(6) 既定仕切	
(4) 4						

8-3-1 採点(通過者判定)

①(1)の表に、点数の高い順に点数とそれに対応する選手数が表示されます。

(2)の領域に「競技人数」「選択人数」「通過人数」「仕切点数」「ヒート数」「平均人数」が表示されます。

※競技人数…欠番登録者を除いた、実際に競技に参加した選手の人数。

選択人数…次のラウンドに進むことができる人数の規定値。

通過人数…仕切点数を満たした選手の人数。

同点決勝対象者が存在し、(3)のチェックがオフの場合、

仕切点数より1少ない点数の選手全員も含まれる。

同点決勝対象者が存在し、(3)のチェックがオンの場合、

仕切点数より1少ない点数の選手は含まれない。

平均人数…1ヒートあたりの選択人数。

②同点決勝を行うには、(3)のチェックをオンにします。(→8-4-2 予選処理(同点決勝を行う場合))

※同点決勝対象者が存在しない場合、このチェックは表示されません。

8-3-2 次ラウンドヒート数設定

①次のラウンドのヒート数を変更するには、(4)の上下ボタンをクリックします。

※キーボードから直接入力することもできます。

また、(4)の上下ボタンの設定をリセットしたい場合は、(5)の「リセット」ボタンをクリックします。

②予選仕切処理を適用して次の処理へ進むには、(6)の「規定仕切」ボタンをクリックします。

※予選仕切処理を破棄して終了する場合は、(7)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

8.4 予選結果

予選処理を行った結果を表示します。

8-4-1 予選結果(同点決勝を行わない場合)

採点管理システム - 予選結果

予選結果表示

D級競技会 アマ スタンダード

第1 予選

(1)

2	3	5	6	8	9	10	11	12	13
14	16	17	18	19	20	21	22	23	25
26	28	32	33	35	36	37	38	39	40
41	44	45	46	47	48	49	50	51	52
53	54	55	57	58	59	60	62	63	64
65	67	69	70	71	75	76	77	79	80
81	85	86	88	89	91	93	94	96	97
100	102	104	106						

(2) 

ジャッジシート

(3) 

帳票印刷

(5) 

キャンセル

(4) 

次ラウンドへ

①(1)の表にラウンドを通過した選手の背番号一覧が表示されます。

②次ラウンドのジャッジシートを印刷するには、(2)の「ジャッジシート」ボタンをクリックします。(→13 ジャッジシート印刷)

③当ラウンドの採点明細を印刷、または次ラウンドの各種帳票を印刷するには、

(3)の「帳票印刷」ボタンをクリックします。(→12 帳票印刷)

④予選処理を適用し次ラウンドの処理へ進むには、(4)の「次ラウンドへ」ボタンをクリックします。

※予選処理を破棄し、当画面を終了する場合には(5)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

8-4-2 予選処理(同点決勝を行う場合)

[illegible]

①(1)の表に無条件に次ラウンドに進出する選手の背番号一覧が表示されます。

②次ラウンドのジャッジシートを印刷するには、(2)の「ジャッジシート」ボタンをクリックします。(→13 ジャッジシート印刷)

③無条件で進出する選手の背番号、同点決勝を行う選手の背番号、

無条件で落選する選手の背番号を印刷するには、(3)の「同点決勝印刷」ボタンをクリックします。(→12 帳票印刷)

④予選処理を適用し同点決勝の処理へ進むには、(4)の「同点決勝へ」ボタンをクリックします。

※予選処理を破棄し、当画面を終了する場合には(5)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

9 同点決勝処理

同点決勝ジャッジシート取り込み・通過者判定の処理を行います。

9-1 ジャッジシート取り込み

ジャッジシート読み取り、読み取った情報を修正します。

採点管理システム - 同点決勝処理

同点決勝ジャッジ取込		D級競技会 アマ ラテンアメリカン		準決勝(同点)																																																																				
マークの確認 (1) 関根 宏行 (2) (3) 没収		(2) <table border="1"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>8</td><td>7</td> </tr> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	8	7	6	5	4	3	2	1	8	7	(4)																												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																															
8	7	6	5	4	3	2	1	8	7																																																															
(5) <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>選手氏名</th> <th>01</th> <th>02</th> <th>03</th> <th>04</th> <th>05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>鳥丸 康之</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高鳥 大輔</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>清永 省吾</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>小林 直高</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>大田 晃</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>菊池 直哉</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>		No.	選手氏名	01	02	03	04	05	1	鳥丸 康之	1	8	6	8	5	2	高鳥 大輔	2	1	7	7	4	3	清永 省吾	3	2	8	6	3	4	小林 直高	4	3	1	5	2	7	大田 晃	5	4	2	4	1	8	菊池 直哉	6	5	3	3	8	(6) <table border="1"> <thead> <tr> <th>C</th> <th>S</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		C	S																		
No.	選手氏名	01	02	03	04	05																																																																		
1	鳥丸 康之	1	8	6	8	5																																																																		
2	高鳥 大輔	2	1	7	7	4																																																																		
3	清永 省吾	3	2	8	6	3																																																																		
4	小林 直高	4	3	1	5	2																																																																		
7	大田 晃	5	4	2	4	1																																																																		
8	菊池 直哉	6	5	3	3	8																																																																		
C	S																																																																							
手入力を行う (7)		(1) ジャッジシート読取 (9) 一時保存 (10) 閉じる (8) 適用																																																																						

①読み取りを開始するには、(1)の「ジャッジシート読取」ボタンをクリックします。

読み取った内容が(2)の領域に表示されます。

表示される項目は「審査員 No」「審査員名」「シート内容」です。

※読み取り内容にエラーがある場合は読み取りを一時停止し、(4)の領域にエラーの詳細を表示します。

(5)の表と(6)の表において、内容に不正がある場合は列の背景色が赤色になります。

読み取った内容を審査員単位で破棄するには、(3)の「没収」ボタンをクリックします。

②読み取った内容を修正するには、(7)のチェックをオンにし、

(6)の種目一覧で種目をクリックして選択した後、

(5)の読み取り内容一覧で修正をしたいマスをクリックして選択し、キーボードから直接入力します。

③読み取り内容の変更を適用するには、(8)の「適用」ボタンをクリックします。

読み取り内容の変更を一時保存するには、(9)の「一時保存」ボタンをクリックします。

※読み取り内容の変更を破棄して終了するには、(10)の「閉じる」ボタンをクリックします。

9-2 同点決勝結果

同点決勝処理の結果を表示します。

採点管理システム - 同点決勝結果

同点決勝順位の表示
(1)

D級競技会 アマ ラテンアメリカン

準決勝(同点)

No.	選手氏名	O	S							合計	順位
1	鳥丸 康之	8	8							16	8
2	高鳥 大輔	4	4							8	5
3	清永 省吾	2	7							9	6
4	小林 直高	1	5							6	1
7	大田 晃	3	3							6	2
8	菊池 直哉	5	6							11	7
9	土橋 豊	6	2							8	4
10	王 正義	7	1							8	3

無条件進出選手
(2) 5, 6

決勝進出選手
(3) 2, 3, 4, 7, 9, 10


 (4) ジャッジシート


 (5) 帳票印刷


 (6) 順位決定過程


 (8) キャンセル


 (7) 次ラウンドへ

①(1)の表に同点決勝の結果が表示されます。

表示される項目は、「背番号」「選手氏名」「種目別順位」「合計点」「総合順位」です。

②(2)の領域に同点決勝前に次のラウンドに進出することが決定している選手の背番号が表示されます。

③(3)の領域に同点決勝を行った結果、次のラウンドに進出することができる選手の背番号が表示されます。

④次ラウンドのジャッジシートを印刷するには、(4)の「ジャッジシート」ボタンをクリックします。(→13 ジャッジシート印刷)

⑤当ラウンドの採点明細を印刷、または次ラウンドの各種帳票を印刷するには、

(5)の「帳票印刷」ボタンをクリックします。(→12 帳票印刷)

⑥順位決定過程を印刷するには、(6)の「順位決定過程」ボタンをクリックします。

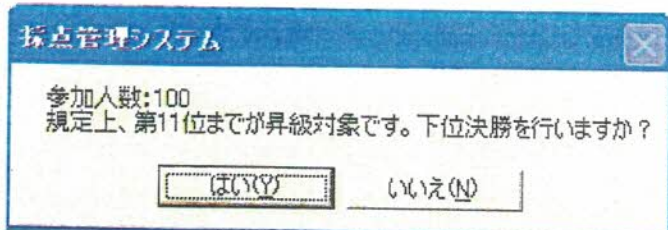
⑦同点決勝処理を適用し次のラウンドの処理へ進むには、(7)の「次ラウンドへ」ボタンをクリックします。

※同点決勝処理を破棄して終了するには、(8)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

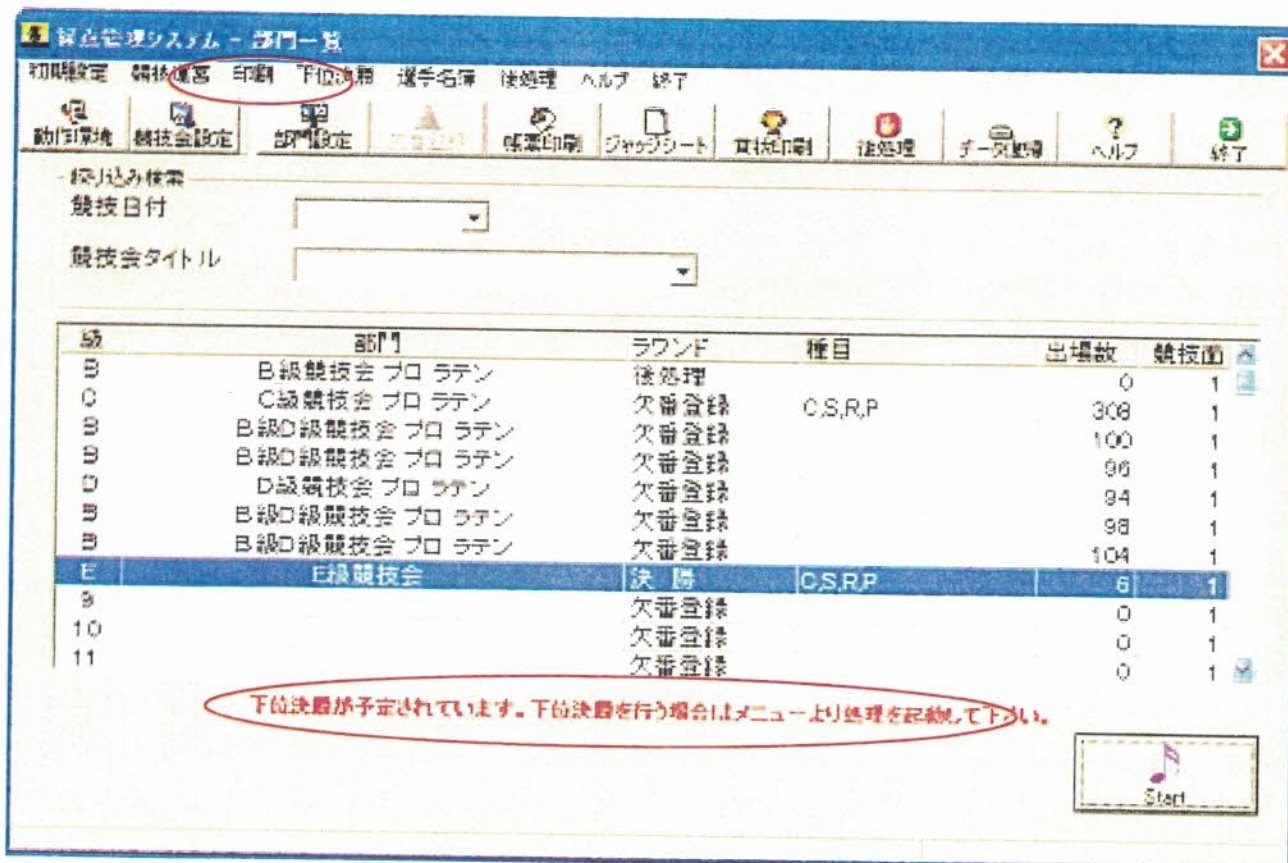
10 下位決勝処理

競技会規定により、決勝で決定できる順位を超えて昇級対象者を選出する必要がある場合、決勝参加者以外の選手で下位決勝を行い、下位の順位を決定します。

10-1 下位決勝表示の設定



欠番登録時、大会規定により下位決勝を行う可能性のある場合は、下位決勝を行うか否かの確認画面が表示されます。競技会プログラムに従い、下位決勝を行う場合は「はい」を、行わない場合は「いいえ」をクリックしてください。

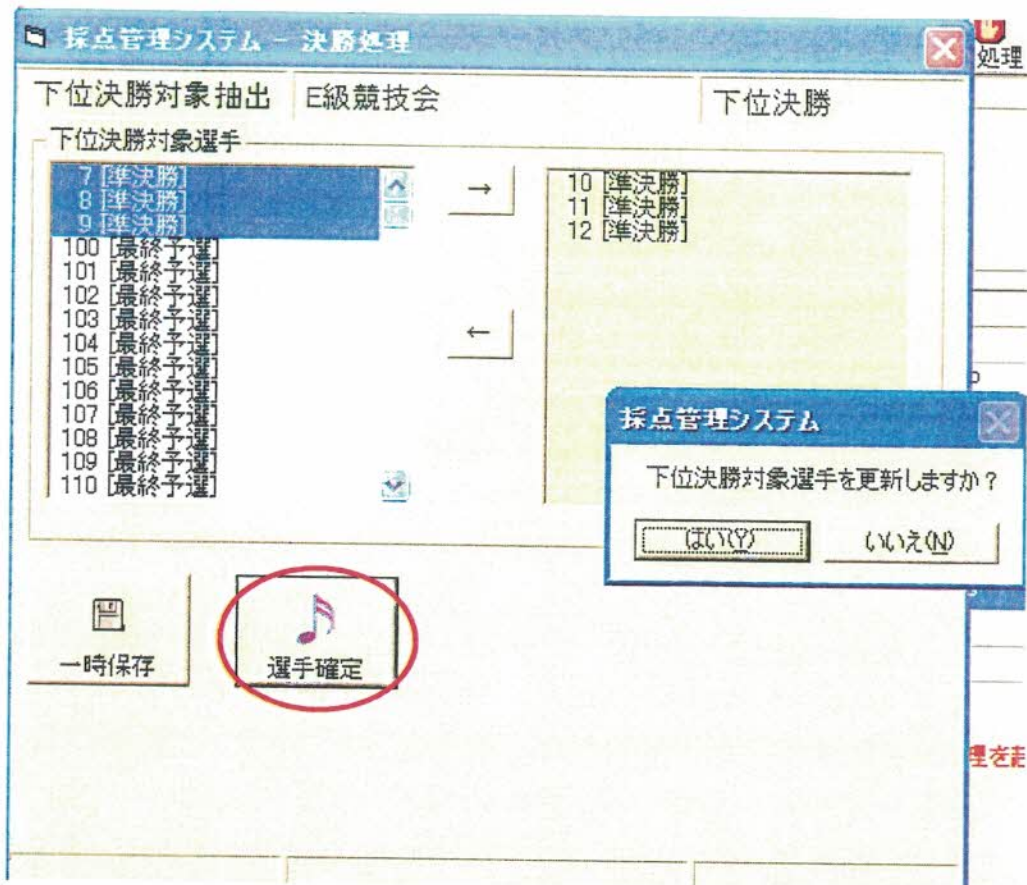


確認画面で「下位決勝を行う」を選択した場合、部門が決勝ラウンドまで進んだ段階で下位決勝の確認メッセージがメインメニューの下部に表示されます。そのまま下位決勝を行う場合は、メニュー上の下位決勝ボタンをクリックしてください。

※確認画面で「下位決勝を行わない」を選択した場合も、メインメニュー上に確認メッセージは表示されませんが下位決勝は行えます。メニュー上の下位決勝ボタンをクリックしてください。

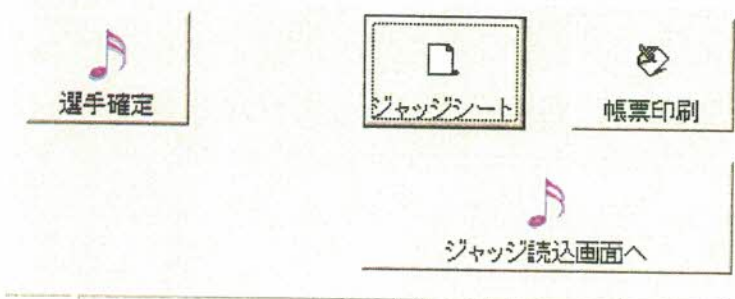
10-2 下位決勝対象者抽出

下位決勝対象者を抽出します。



下位決勝対象選手欄の左側の一覧から、下位決勝に参加させる選手背番号を選び、→ボタンをクリックして下さい。

参加させる選手が全て右側の一覧に移ったのを確認してから選手確定ボタンをクリックすると、確認メッセージの後、「ジャッジシート印刷」ボタン、「帳票印刷」ボタン、「ジャッジシート読込画面」ボタンが表示されます。



「ジャッジシート」ボタンをクリックするとジャッジシート印刷画面が表示されます。ここで、下位決勝ジャッジシートの印刷を行ってください。

「帳票印刷」ボタンをクリックすると下位決勝参加者リストが印刷されます。

ジャッジシート印刷、帳票印刷が済んだら「ジャッジシート読込画面へ」ボタンをクリックして読込画面へ進んでください。

10-3 ジャッジシート取り込み

下位決勝ジャッジシートを読み取り、読み取った情報を修正します。

採点管理システム - 決勝処理

下位決勝ジャッジ取込		E級競技会		下位決勝	
マークの確認		(2)		(4)	
(3) 没収		(5)		(6)	
No.	選手氏名	O1	O2	O3	
7	山田 太郎	0	0	0	
8	山田 二郎	0	0	0	
9	山田 三郎	0	0	0	
(7) 手入力を行う (1) ジャッジシート読み取り					
(9) 一時保存 (10) 閉じる (8) 適用					

①読み取りを開始するには、(1)の「ジャッジシート読み取り」ボタンをクリックします。

読み取った内容が(2)に表示されます。

表示される項目は「審査員 No」「審査員名」「シート内容」です。

※読み取り内容にエラーがある場合は読み取りを一時停止し、(4)の領域にエラーの詳細を表示します。

読み取った内容を審査員単位で破棄するには、(3)の「没収」ボタンをクリックします。

②読み取った内容を修正するには、(7)のチェックをオンにし、

(6)の種目一覧で種目をクリックして選択した後、

(5)の読み取り内容一覧で修正をしたいマスをクリックして選択し、キーボードから直接入力します。

※(5)の表と(6)の表において、内容に不正がある場合は列の背景色が赤色になります。

③読み取り内容の変更を保存するには、(8)の「適用」ボタンをクリックします。

読み取り内容の変更を一時保存するには、(9)の「一時保存」ボタンをクリックします。

※読み取り内容の変更を破棄して終了するには、(10)の「閉じる」ボタンをクリックします。

10-4 下位決勝成績

下位決勝処理の結果を表示します。

採点管理システム - 総合成績

(1) 下位決勝順位

E級競技会

下位決勝

No.	選手氏名	C	S	R	P							合計	下位決勝	総合
7	山田 太郎	1	1	1	1							4	1	7
8	山田 二郎	2	2	2	2							8	2	8
9	山田 三郎	3	3	3	3							12	3	9

(2) 

帳票印刷

(3) 

順位決定過程

(5) 

キャンセル

(4) 

成績確定

①(1)の表に下位決勝成績、総合成績が表示されます。

表示される項目は、「背番号」「選手氏名」「種目別順位」「合計点」「下位決勝(順位)」「総合(順位)」です。

②当ラウンドの採点明細を印刷、または次ラウンドの各種帳票を印刷するには、

(4)の「帳票印刷」ボタンをクリックします。(→[12 帳票印刷](#))

③順位決定過程を印刷するには、(3)の「順位決定過程」ボタンをクリックします。

④下位決勝処理を適用し成績を確定するには、(4)の「成績確定」ボタンをクリックします。

※下位決勝処理を破棄して終了するには、(5)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

11 決勝処理

決勝ジャッジシート取り込み・総合成績の処理を行います。

11.1 ジャッジシート取り込み

ジャッジシートを読み取り、読み取った情報を修正します。

採点管理システム - 決勝処理

決勝ジャッジ取込		D級競技会 アマ ラテンアメリカン		決 勝																																																					
☐ マークの確認 (1) 関根宏行 (2) (3) 没収		(2) <table border="1"> <tr><td>12</td><td>15</td><td>39</td><td>52</td><td>74</td><td>79</td><td>93</td><td>120</td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> </table> (4) <table border="1"> <tr><td>12</td><td>15</td><td>39</td><td>52</td><td>74</td><td>79</td><td>93</td><td>120</td></tr> <tr><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table>		12	15	39	52	74	79	93	120	1	2	3	4	5	6	7	8	12	15	39	52	74	79	93	120	8	7	6	5	4	3	2	1	(6) <table border="1"> <tr><td>C</td><td>S</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>		C	S																		
12	15	39	52	74	79	93	120																																																		
1	2	3	4	5	6	7	8																																																		
12	15	39	52	74	79	93	120																																																		
8	7	6	5	4	3	2	1																																																		
C	S																																																								
(5) <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>選手氏名</th> <th>01</th> <th>02</th> <th>03</th> <th>04</th> <th>05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>12</td><td>鳥丸 康之</td><td>8</td><td>8</td><td>1</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>15</td><td>高鳥 大輔</td><td>7</td><td>7</td><td>2</td><td>6</td><td>4</td></tr> <tr><td>39</td><td>清水 省吾</td><td>6</td><td>1</td><td>8</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>52</td><td>小林 直高</td><td>5</td><td>6</td><td>3</td><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>74</td><td>大田 晃</td><td>4</td><td>2</td><td>7</td><td>3</td><td>6</td></tr> <tr><td>79</td><td>菊池 直哉</td><td>3</td><td>5</td><td>6</td><td>8</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>		No.	選手氏名	01	02	03	04	05	12	鳥丸 康之	8	8	1	5	5	15	高鳥 大輔	7	7	2	6	4	39	清水 省吾	6	1	8	4	3	52	小林 直高	5	6	3	7	2	74	大田 晃	4	2	7	3	6	79	菊池 直哉	3	5	6	8	1							
No.	選手氏名	01	02	03	04	05																																																			
12	鳥丸 康之	8	8	1	5	5																																																			
15	高鳥 大輔	7	7	2	6	4																																																			
39	清水 省吾	6	1	8	4	3																																																			
52	小林 直高	5	6	3	7	2																																																			
74	大田 晃	4	2	7	3	6																																																			
79	菊池 直哉	3	5	6	8	1																																																			
☐ 手入力を行う (7)		(1) ジャッジシート読取 (9) 一時保存 (10) 閉じる (8) 適用																																																							

①読み取りを開始するには、(1)の「ジャッジシート読み取り」ボタンをクリックします。

読み取った内容が(2)に表示されます。

表示される項目は「審査員 No」「審査員名」「シート内容」です。

※読み取り内容にエラーがある場合は読み取りを一時停止し、(4)の領域にエラーの詳細を表示します。

読み取った内容を審査員単位で破棄するには、(3)の「没収」ボタンをクリックします。

②読み取った内容を修正するには、(7)のチェックをオンにし、

(6)の種目一覧で種目をクリックして選択した後、

(5)の読み取り内容一覧で修正をしたいマスをクリックして選択し、キーボードから直接入力します。

※(5)の表と(6)の表において、内容に不正がある場合は列の背景色が赤色になります。

③読み取り内容の変更を保存するには、(8)の「適用」ボタンをクリックします。

読み取り内容の変更を一時保存するには、(9)の「一時保存」ボタンをクリックします。

※読み取り内容の変更を破棄して終了するには、(10)の「閉じる」ボタンをクリックします。

11-2 総合成績

決勝処理の結果を表示します。

採点管理システム - 総合成績

総合順位の表示

(1)

D級競技会 アマ ラテンアメリカン

決 勝

No.	選手氏名	C	S							合計	順位
12	鳥丸 康之	7	4							11	6
15	高島 大輔	6	8							14	8
39	清永 省吾	3	1							4	2
52	小林 直高	2	7							9	4
74	大田 晃	1	2							3	1
79	菊池 直哉	4	6							10	5
93	土橋 豊	5	3							8	3
120	王 正義	8	5							13	7

(2) 

帳票印刷

(3) 

順位決定過程



キャンセル

(4) 

成績確定

①(1)の表に総合成績が表示されます。

表示される項目は、「背番号」「選手氏名」「種目別順位」「合計点」「総合順位」です。

②当ラウンドの採点明細を印刷、または次ラウンドの各種帳票を印刷するには、

(4)の「帳票印刷」ボタンをクリックします。(→[12 帳票印刷](#))

③順位決定過程を印刷するには、(3)の「順位決定過程」ボタンをクリックします。

④決勝処理を適用し成績を確定するには、(4)の「成績確定」ボタンをクリックします。

※決勝処理を破棄して終了するには、(5)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

12 帳票印刷

各部門の各ラウンドの帳票部数を指定し、印刷します。

①画面起動時に自動的に現在のラウンド(3)が選択されます。

選択されたラウンドが印刷対象になります。

過去のラウンドの帳票を印刷する場合は、(1)の選択ボタンでラウンドを選択し、各種帳票の印刷部数を設定します。

※選択しているラウンドが予選である場合は、(2)の上下ボタンでラウンドを選択します。

選択されたラウンドの各種帳票の印刷部数を上下ボタンで指定します。

②保存用に印刷する、実施された全ラウンドの採点明細の印刷部数を(4)の上下ボタンで指定します。

1以上に設定した場合は、各ラウンドの各帳票の印刷部数設定は無効になります。

③ジャッジシート原稿以外の全帳票を印刷する部数を(5)の上下ボタンで指定します。

1以上に設定した場合は、各ラウンドの各帳票の印刷部数設定は無効になります。

※現在のラウンドが「後処理」である場合にだけ設定可能な項目です。

④各帳票にスタンプを表示しないようにするには、(6)のチェックをオフにします。

⑤設定を規定値として保存するには、(7)の「設定保存」ボタンをクリックします。

⑥印刷を開始するには、(8)の「印刷」ボタンをクリックします。

※当画面を閉じるには、(9)の「閉じる」ボタンをクリックします。

■各帳票の枚数を指定する際、キーボードから直接入力することもできます。

13 ジャッジシート印刷

ジャッジシートの種類、印刷する種目・審査員、マークの有無を設定します。

①(1)のボタンをクリックすることにより、ジャッジシートの種類を指定します。

②印刷する種目を設定します。

全てを選択するには(2)の「全て」ボタンをクリックします。

個別に設定する場合は、(3)の各ボタンをクリックして選択します。

クリックするごとに選択・未選択が切り替わります。

③印刷する審査員を設定します。

全員を選択するには(4)の「全員」ボタンをクリックします。

審査員番号の前半・後半だけを選択する場合は、(5)の「前半」ボタンまたは(6)の「後半」ボタンをクリックします。

個別に設定する場合は、(7)の各ボタンをクリックして選択します。

クリックするごとに選択・未選択が切り替わります。

④マークを印刷しない項目を(8)の選択ボタンで指定します。

(8)の選択ボタンのうちいずれかを選択した場合、

(9)の上下ボタンで、マークを印刷しないジャッジシートの部数を指定する必要があります。

※部数を指定する際、キーボードから直接入力することもできます。

⑤ジャッジシート印刷設定を全て初期化したい場合は、(10)の「設定をクリア」ボタンをクリックします。

⑥印刷を開始するには(11)の「印刷」ボタンをクリックします。

※当画面を閉じるには、(12)の「閉じる」ボタンをクリックします。

14 賞状印刷

決勝処理が終了して順位が確定した部門の賞状を印刷します。

探点管理システム - 賞状印刷

賞状印刷 A級競技会 アマ ラテンアメリカン

フォント種類(全体) HG明朝E (1)

順位 (2)

順位表記 ☒ ハース1(例: 第三位) ☐ ハース2(例: 第参位) ☐ ハース3(例: 第3位)

位置調整(mm) 水平→ 0 垂直↓ 0 (3) フォントの大きさ 48 (4)

氏名上段

位置調整(mm) 水平→ 0 垂直↓ 0 (5) フォントの大きさ 48 (6)

氏名下段

位置調整(mm) 水平→ 0 垂直↓ 10 (7) フォントの大きさ 48 (8)

(9)

順位	背番号	リーダー名	パートナー名	L→P印刷	P→L印刷
優勝	37	富永 明彦	藤井 秀美	(10)	(11)
第二位	40	村田 義幸	橋本 玲子	☒	☒
第三位	106	佐 典	Monika Baldasseroni	☒	☒
第四位	190	渡辺 竜治	渡辺 さと子	☒	☒
第五位	217	青藤 雅浩	谷 尚子	☒	☒
第六位	218	土屋 宏次	香田 愛	☒	☒

プレビュー (13) 印刷 (12) 閉じる (14)

①画面を起動すると、(9)に決勝進出者の一覧が表示されます。

②印刷フォント、印刷位置、フォントの大きさを調整します。

・(1)でフォントの種類を選択します。選択されたフォントは、順位表記、氏名(リーダー、パートナー)に適用されます。

・(2)で順位表記のパターンを選択します。選択したパターンは(9)の順位欄に反映されます。

※順位欄に直接手入力することも可能です。

・(3)で順位の出力位置を調整します。また、(4)で順位の出力フォントを選択します。(直接手入力も可能です。)

・(5)で氏名上段の出力位置を調整します。また、(6)で氏名上段の出力フォントを選択します。(直接手入力も可能です。)

・(7)で氏名下段の出力位置を調整します。また、(8)で氏名下段の出力フォントを選択します。(直接手入力も可能です。)

③氏名を「上段:リーダー、下段:パートナー」の順に印刷する場合は、(10)のL→P印刷欄をチェックします。

また、「上段:パートナー、下段:リーダー」の順に印刷する場合は、(11)のP→L印刷欄をチェックします。

※(10)と(11)を両方チェックした場合は、1組につき2部印刷されます。

④賞状の印刷を開始するには、(12)の「印刷」ボタンをクリックします。

⑤(13)の「プレビュー」ボタンをクリックすると、賞状の出力内容がプレビュー表示されます。

※当画面を閉じるには、(14)の「閉じる」ボタンをクリックします。

15 競技会後処理

競技会終了後の後処理、印刷、掲載用データ出力を行います。

採点管理システム - 後処理
✕

(1) 印刷実行

(2) 掲載データ出力

部門	ラウンド	印刷状況	データ出力状況
D級競技会 アマ スタンダード	後処理	出力済	
C級競技会 アマ ラテンアメリカン	後処理		
C級競技会 アマ スタンダード	後処理		
D級競技会 アマ ラテンアメリカン	後処理		
D級競技会 アマ スタンダード	後処理		
C級競技会 アマ スタンダード	後処理		
B級競技会 プロ スタンダード A	後処理		
B級競技会 プロ スタンダード B	後処理		
B級競技会 プロ スタンダード C	後処理		

データ保存先

USBドライブ e: (3)

保存先フォルダ e:\END

(4)

後処理実行

(5)

閉じる

- ①(1)の「印刷実行」ボタンをクリックすると、ラウンドが後処理である部門の成績表を印刷します。
- ②(2)の「掲載データ出力」ボタンをクリックすると、ラウンドが後処理である部門のホームページ掲載用データを出力します。
- ③(3)のリストから USB ドライブを指定します。保存先フォルダが表示されます。
- ④(4)の「後処理実行」ボタンをクリックすると、採点管理データ・ホームページ掲載用データを動作環境設定で指定した USB ドライブにコピーします。
- ⑤当画面を閉じるには、(5)の「閉じる」ボタンをクリックします。

16 選手名簿メンテナンス

各部門の出場選手の登録情報を追加または変更します。

選手名簿メンテナンス

区別 (2) 登録

(5) (6) 検索

新規登録 変更登録

選手情報 (3)

選手番号 10110001

選手名 多田 謙太郎

ふりがな ただけんたろう

所属名 高校生

特記メモ

パートナー名 佐藤 選手

ふりがな たにさけみ おつこ

所属名

特記メモ 高校生

登録

選手番号	背番号	選手名	ふりがな	所属名	特記メモ	パートナー名	ふりがな	所属名	特記メモ	級
10110001	1	多田 謙太郎	ただけんたろう			佐藤 選手	たにさけみ おつこ	高校生		C
10110002	2	国井 康司	くにい やすし			村上 浩樹	むらかみ ひろき			C
10110003	3	鈴木 圭人	すずき けいと			竹中 直子	たけなかな なおこ			C
10110004	4	加藤 初志	かとう かつし			青藤 灯	あいはるあかり	千代田大		C
10110005	5	松井 隆吉	まつい たかし			島根 洋子	しまね ひろこ			D
10110006	6	佐藤 圭一	さとう けい			西山 真希	あやま まほみ			D
10110007	7	柏木 典史	かしわぎ のぶき			志保 真紀	しほ まき			D
10110008	8	中村 智也	なかむら ともき			定立 祐美	あだち けい			C
10110009	9	横原 友康	よこはら ともや	新選組		利戸 新花	せと しんか			C
10110010	10	正岡 真樹	まさおか まさき			井上 晴香	いのうえ はるか			C
10110011	11	今泉 第一	いまいずみ だいいち	高校生		志賀 博美	しが ひろみ			C
10110012	12	浦和 友利	うらわ とものり			村井 理恵	むらせい え			D
10110013	13	若木 達夫	わき たつお			土屋 田紀	つちや けい	世田谷大		D
10110014	14	藤田 真琴	ふじた まこと			石田 悠	いしだ ゆう			D
10110015	15	立川 直也	たちかわ なおや	世田谷大		田中 智	たなか ちか			C
10110016	16	陸奥 義之	むつ よしゆき			高野 瞳子	みなみの ようこ			C

(7) 閉じる

①画面起動時、(1)の領域に選手名簿が表示されます。

表示される項目は、「登録番号」「背番号」「選手名」「ふりがな」「所属名」「特記メモ」

「パートナー名」「(パートナー)ふりがな」「(パートナー)所属名」「(パートナー)特記メモ」「級」です。

②選手情報を登録します。

■新規に登録する場合

(2)の登録区分で「新規登録」を選択します。

(3)の各入力欄に各情報を入力し、(4)の「登録」ボタンをクリックします。

※入力する項目は、(1)で表示される項目と同じです。

■登録を変更する場合

(2)の登録区分で「登録変更」を選択します。

(1)で登録を変更したい行をクリックして選択します。

※(5)の入力欄に背番号を入力し(6)の検索ボタンをクリックすることにより、目的の行を検索することもできます。

(3)の各入力欄の各情報を修正し、(4)の「登録ボタン」をクリックします。

※ただし、背番号は変更できません。

③当画面を終了するには、(7)の「閉じる」ボタンをクリックします。

17 データ復帰

各部門の現在ラウンドを巻き戻し、再仕切または再読込を行います。

The screenshot shows a window titled '採点管理システム - データ復帰画面' (Score Management System - Data Recovery Screen). The window has a blue header bar with the title and a close button. Below the header, there are two tabs: 'データ復帰' (Data Recovery) and 'C級競技会 アマ スタンダード' (C-level Competition Amateur Standard). The main area contains a horizontal timeline with a slider. The timeline is labeled with '(2)準決勝' (Quarterfinals) on the left and '(3)最終予選' (Final Qualifying) on the right. A blue bar represents the current round, and a vertical line indicates the selected round, labeled '(1)'. Below the timeline, there is a section labeled '復帰レベル(4)' (Recovery Level). It contains two radio buttons: '再仕切(再読込み不要)' (Reset (No need to reload)) and '再読込' (Reload). At the bottom right, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) labeled '(6)' and '適用' (Apply) labeled '(5)'.

①(1)のつまみを操作して、巻き戻すラウンドを指定します。

※(2)に現在のラウンドが、(3)に巻き戻す予定のラウンドが表示されます。

(4)の復帰レベル指定で「再仕切」か「再読込」を選択します。

※再仕切とは、ジャッジシートを読み取った直後の状態に巻き戻すことを指します。

再読込とは、ジャッジシートを読み取る前の状態に巻き戻すことを指します。

②(5)の「適用」ボタンをクリックすると、データ復帰処理を開始します。

※データ復帰処理を中止して当画面を終了するには、(6)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

18.2 面競技の合流

2面競技の合流の処理を行います。

選択された部門の競技面数が1面として処理されます。

種別	部門	ラウンド	種目	出場数	競技面
C	C級競走会 アマ スタンダード	第1予選	OS	107	1
C	C級競走会 アマ スタンダード	第2予選	OS	107	1
C	C級競走会 アマ スタンダード	第1予選	OS	107	1
A	A級競走会 アマ スタンダード	決勝		0	1
C	C級競走会 アマ スタンダード	決勝		0	1
C	C級競走会 アマ スタンダード	決勝		0	1
C	C級競走会 アマ スタンダード	決勝		0	1
B	B級競走会 プロ スタンダード A	第2予選	WTFD	106	2
B	B級競走会 プロ スタンダード B	決勝	WTFD	13	2
B	B級競走会 プロ スタンダード C	決勝	WTFD	1	2
B	B級競走会 プロ スタンダード D	決勝	WTFD	1	2

①2面競技の合流を行う部門を選択し、メニューの「競走運営」⇒「2面競技の合流」を選択してください。

②処理の途中で、部門設定画面が表示されますので、2面競技後の担当審査員を設定してください。

通常は、それまでのA面、B面それぞれの審査員が合流後も全員、担当する設定になります。

例:)直前まで、A面:5人、B面:5人での審査なら、合流後は10人となります。

審査担当を正しく設定/確認後、部門設定画面の保存ボタンをクリックしてください。

③合流処理完了後、該当部門の競技面が1面となっていることを確認してください。

ポイント管理システム - ギャップ設定

部門設定 全灰城(秋季)D級 アマ スタANDARD 第2子選

競技の性質

一面審査員数

3
5
7
9
11
13
15
10

審判員担当

グループ1

01 橋本 浩二	03 宮本 和子
02 橋本 浩二	04 宮本 和子
05 橋本 浩二	06 宮本 和子
08 橋本 浩二	07 宮本 和子
10 橋本 浩二	09 宮本 和子
11 橋本 浩二	12 宮本 和子
13 橋本 浩二	14 宮本 和子
14 橋本 浩二	15 宮本 和子
15 橋本 浩二	16 宮本 和子
	17 宮本 和子
	18 宮本 和子

キャンセル 保存

選手データベース 選手一覧

印刷 各種検索 選手名簿 後処理 ヘルプ 終了

動作環境 競技会設定 選手設定 選手登録 選手検索 選手印刷 選手登録 選手検索 選手印刷 選手登録 選手検索 選手印刷

選手名簿

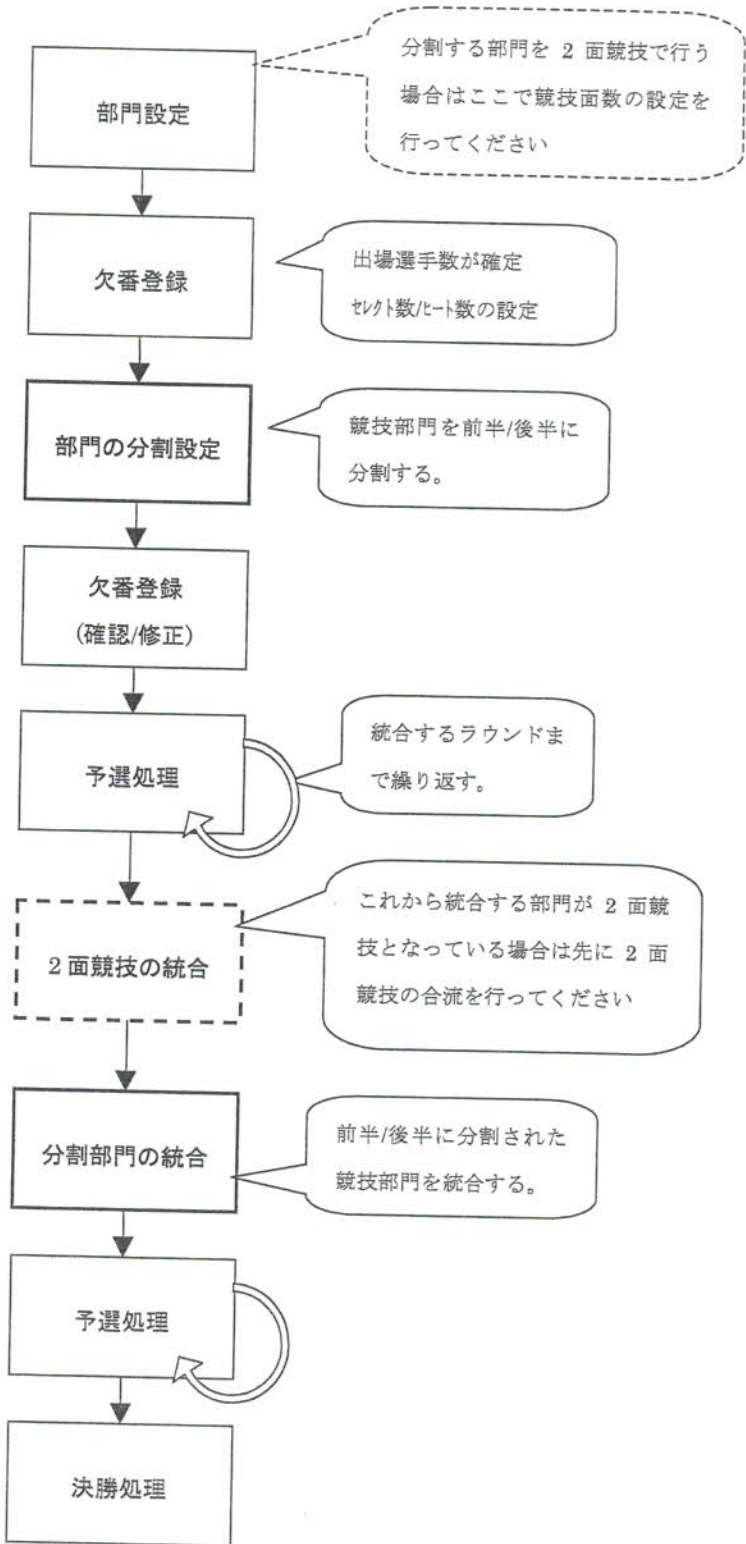
競技会タイトル

選手名	所属	部門	ラウンド	種目	出場数	競技面
D	D級 競技会 アマ	ラテンアメリカン	第1予選	CS	127	1
D	D級 競技会 アマ	スタンダード	第2予選	CS	107	1
C	C級 競技会 アマ	ラテンアメリカン	第1予選	CS	107	1
C	C級 競技会 アマ	スタンダード	後処理		0	1
A	A級 競技会 アマ	ラテンアメリカン	後処理		0	1
D	D級 競技会 アマ	スタンダード	後処理		0	1
C	C級 競技会 アマ	ラテンアメリカン	後処理		0	1
C	C級 競技会 アマ	スタンダード	第2予選	WTFQ	106	2
B	B級 競技会 プロ	スタンダード A	最終予選	WTFQ.V	13	2
B	B級 競技会 プロ	スタンダード B	欠番登録	WTFQ	1	2
B	B級 競技会 プロ	スタンダード C	欠番登録	WTFQ	1	2

Start

19 部門分割設定～統合処理

当処理は、競技部門を分割して進行する競技会（スーパージャパンカップ）で使⽤します。
全体の処理フローは下記の通りです。



■ 部門の分割手順

競技部門を分割する場合は、以下の手順で分割します。

①分割を実行する前に、あらかじめ欠番登録画面の(1)で欠場番号の設定を行います。

→(ここで出場選手数が確定する。)

なお、セレクト数・ヒート数には、必ず分割前半、後半全体の数を設定してください。(→6欠番登録)

②メインメニューから分割する競技部門を選択して、さらに「部門の分割」メニューを選択して、部門分割設定画面を起動します。
画面起動時に後半部門開始背番号が(3)の入力欄に表示されます。

※参加者数が偶数の場合は等分に、奇数の場合は前半が一人多くなるように分割されます。

後半部門開始背番号を変更するには、(2)の参加者背番号一覧の中から変更したい背番号をクリックして選択します。

③分割を実行するには、(4)の「分割実行」ボタンをクリックします。

※分割を実行せず終了する場合は、(5)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

この際、分割された両競技部門のセレクト数・ヒート数は元の半分になり、現在ラウンドは欠番登録に戻ります。

→再度、欠番登録(→[6 欠番登録](#))を行い、セレクト数、ヒート数の確認/修正を行ってください。

:

(以降は、通常通り予選処理を行います。)

:

■ 分割部門の統合手順

分割して進行した競技部門を、以下の手順で統合します。

部門	参加人数	ラウンド
A級競技全アマ ラテンアメリカン(前半)	20	最終予選
A級競技全アマ ラテンアメリカン(後半)	14	最終予選

(1)

セレクト (2) 12 5

ヒート (3) 2 2

(4) (5)

統合実行 キャンセル

①メインメニューから分割する競技部門を選択して、さらに「分割部門の統合」メニューを選択して、部門分割設定画面を起動します。

②統合可能な部門が(1)に表示されます。

③統合後部門のラウンドのセレクト数、ヒート数を設定します。

画面表示時には統合元の部門のラウンドのセレクト数、ヒート数のそれぞれ2倍の数が(2)、(3)に表示されています。

※修正する場合は(2)、(3)の数字入力欄にそれぞれキーボードから入力します。

④統合を実行するには、(4)の「統合実行」ボタンをクリックします。

※統合を中止して終了するには、(5)の「キャンセル」ボタンをクリックします。

:

(以降は、通常通り予選～決勝処理を行います。)

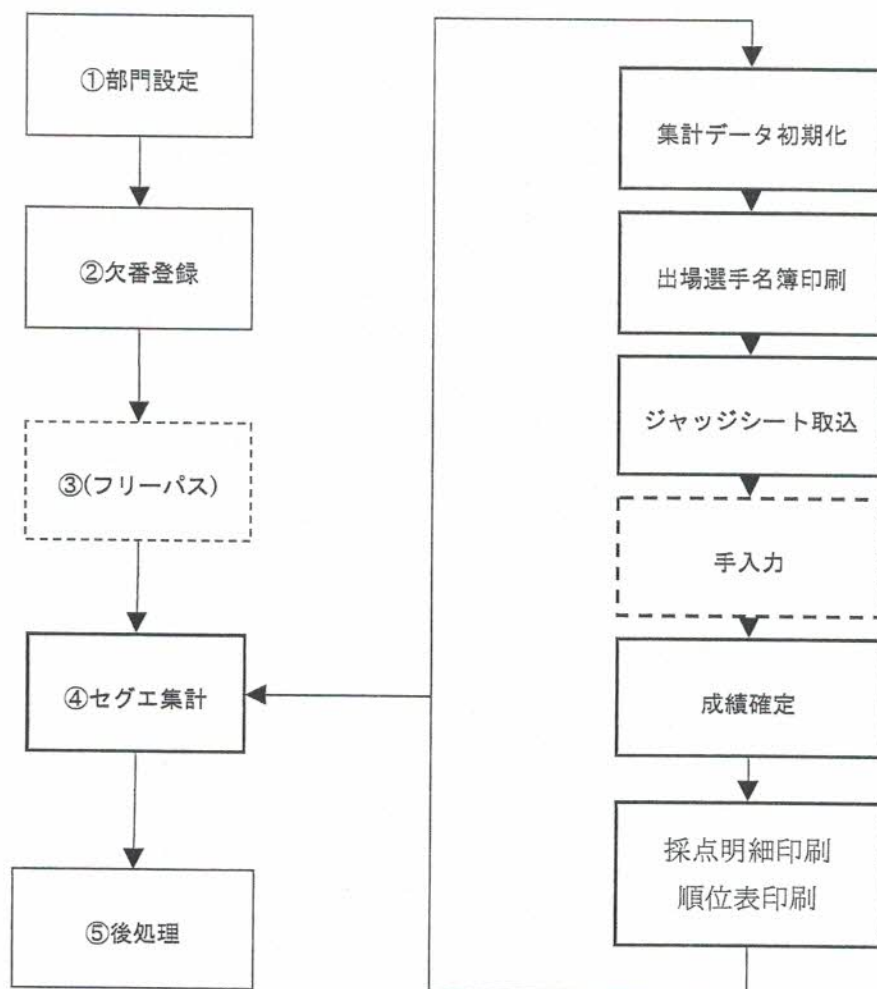
:

20 セグエ集計

セグエ選手権でのジャッジシート読込と結果の集計を行います。

20-1 セグエ集計処理の流れ

セグエ集計の全体的な処理フローは以下の通りです。



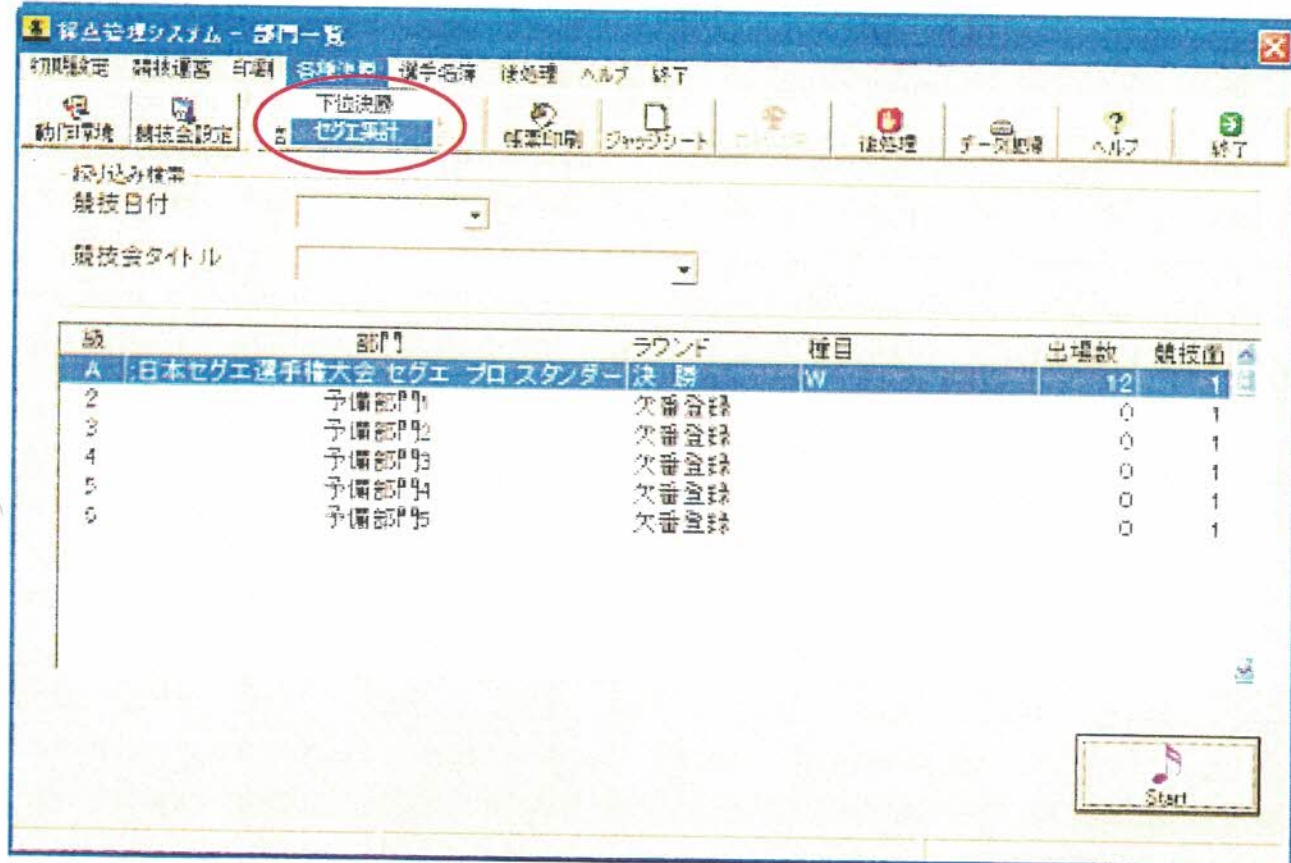
【セグエ集計に必要な事前準備】

- ① 他の部門と同様に5 部門設定を行い、競技会タイトル、種目、審査員を設定して下さい。
 - ※ 種目は、予選～決勝まで、任意で1種目のみ設定して下さい。
 - ※ 審査員は、番号の若い順に前半が技術点、後半が芸術点と、それぞれ自動的に担当が割り振られます。
- ② 他の部門と同様に6 欠番登録を行ってください。
 - ※ 予選数は[0]、セレクト数には部門の参加人数を設定して下さい。
- ③ 7フリーパス処理を行い、ラウンドを決勝に進めて下さい。

以上で、セグエ集計処理の事前準備は完了です。

20-2 セグエ集計処理開始

セグエ処理を開始します。



- ① 決勝ラウンドで、各種決勝メニューよりセグエ集計を選択すると、セグエ集計画面が表示されます。

20-3 セグエ集計画面

セグエ集計

マークの確認

11 両様 幸助

順位

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4	3	12	7	1	6	11	10	2	9	5	8

得点

5.7	5.8	5.1	5.6	6	5.5	5.1	5.4	5.9	5.4	5.7	5.5
-----	-----	-----	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

没収

技術点

No	氏名	01	02	03	04	05	06	07	08	09									
4	金谷 誠治	7	5.6	9	5.2	7	5.3	4	5.7	12	5.1	3	5.8	2	5.9	11	5.2	1	5.9
5	小出 洋平	6	5.7	8	5.3	10	5.2	11	5.1	5	5.6	12	5.1	1	5.0	10	5.2	10	5.3
6	浜中 義浩	1	5.9	7	5.3	5	5.6	8	5.3	11	5.1	9	5.4	3	5.8	6	5.5	6	5.5
7	新庄 慎太郎	3	5.8	6	5.4	1	5.9	10	5.1	8	5.3	2	5.9	10	5.4	4	5.6	2	5.8
8	長野 昌典	10	5.4	11	5.1	3	5.8	3	5.0	10	5.2	7	5.6	9	5.5	3	5.6	5	5.7
9	沢井 広南	5	5.7	2	5.9	6	5.5	6	5.4	4	5.6	1	5.9	8	5.6	5	5.5	9	5.4
10	根岸 昭志	11	5.1	10	5.1	12	5.1	2	5.8	6	5.5	10	5.2	7	5.6	1	5.0	4	5.7
11	横山 美市郎	9	5.4	3	5.7	9	5.2	1	5.9	3	5.9	11	5.1	5	5.7	0	5.0	12	5.2

芸術点

No	氏名	11	12	13	14	15	16	17	18	19									
3	富永 聖時	12	5.1	2	5.0	7	5.5	5	5.7	0	5.5	0	5.5	5	5.7	10	5.2	12	5.1
4	金谷 誠治	7	5.6	9	5.6	1	5.0	12	5.4	10	5.2	7	5.5	7	5.6	9	5.2	3	5.9
5	小出 洋平	1	5.0	6	5.8	11	5.1	8	5.0	12	5.1	1	5.0	4	5.9	8	5.4	2	5.0
6	浜中 義浩	6	5.6	1	5.0	5	5.6	4	5.7	5	5.0	12	5.2	3	5.9	2	5.9	5	5.8
7	新庄 慎太郎	11	5.1	5	5.8	2	5.8	1	5.0	7	5.6	10	5.4	10	5.3	6	5.5	1	5.0
8	長野 昌典	10	5.4	12	5.1	9	5.2	11	5.5	3	5.9	3	5.9	1	5.0	12	5.1	7	5.7
9	沢井 広南	2	5.9	10	5.5	8	5.3	10	5.5	4	5.6	11	5.3	12	5.2	7	5.4	9	5.6
10	根岸 昭志	9	5.4	8	5.7	10	5.1	2	5.8	6	5.5	2	5.9	9	5.3	1	5.0	6	5.8

総合

No	氏名	小計	最高	最低	最高	最低	得点	順位
1	富永 聖時	101.7	5.0	5.9	5.0	5.0	79.7	1
2	小野寺 昌治	99.3	5.7	5.1	5.0	5.5	77.0	12
3	吉本 健	99.5	6.0	5.0	5.0	5.1	77.4	9
4	金谷 誠治	99.7	5.9	5.1	5.0	5.2	77.5	7
5	小出 洋平	99.4	6.0	5.1	5.0	5.1	77.2	11
6	浜中 義浩	100.9	5.9	5.1	5.0	5.2	78.7	2
7	新庄 慎太郎	100.7	5.9	5.1	5.0	5.1	78.6	3

ジャッジシート読取

帳票印刷

名簿

印刷

手入力を行う

一時保存

成績確定

閉じる

- ① その部門で初めてセグエ集計を行うときには、最初に(1)データ初期化を押して採点初期データを作成してください。
- ② 競技開始前に(6)帳票印刷欄で出場者名簿を印刷できます。画面上で枚数を指定し、印刷ボタンを押してください。
- ③ (5)ジャッジシート読取を押すと、接続されたマークシートリーダーより読取を開始します。読み取った内容は技術点、芸術点、総合に分けて審査員ごとにそれぞれ各欄に表示されます。薄黄色で表示されているのが順位、白表示が得点です。
このとき、マーク内容に不正がある場合は該当欄が赤くなり、画面情報の[マークの確認]欄にエラー内容が表示されます。
再度読込直す、などの場合は(7)没収ボタンを押すことで、審査員単位で読込内容をクリアできます。
- ④ マーク内容に修正が必要な場合、または何らかの理由でジャッジシート読込が不可能な場合、(8)手入力を行う にチェックを入れることで直接、技術点/芸術点欄の順位と得点を編集できます。このとき編集内容に従って、総合欄を自動的に再計算し表示しています。
- ⑤ 画面内の得点、順位入力が完了したら、(3)成績確定ボタンを押して表示されている成績を確定してください。
- ⑥ 成績確定を終えると、帳票印刷欄で得点明細と順位表を印刷できるようになります。画面上で枚数を指定し、印刷ボタンを押してください。
(4)閉じる を押すと、未確定の編集内容をキャンセルして画面を閉じます。編集内容の内容を保持したまま画面を閉じたい場合は(2)一時保存を押してください。